

## 関係機関等連絡調整会議運営訓練資料

令和7年1月

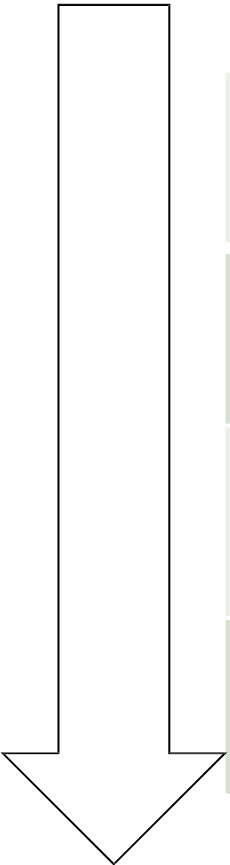
内閣官房・消防庁・沖縄県・先島5市町村

# 第X+ 2 回関係機関等連絡調整会議

## 会次第

令和7年1月30日（木）  
10時00分から11時55分まで  
沖縄県庁4階講堂

- 1 国の避難措置の指示（案）の概要
- 2 沖縄県の避難の指示（案）の概要
- 3 先島諸島市町村の避難実施要領（案）の概要
  - (1) 与那国町
  - (2) 竹富町
  - (3) 石垣市
  - (4) 多良間村
  - (5) 宮古島市
- 4 その他



X年■月、我が国周辺の情勢悪化。あらゆる外交努力を尽くすも関係は悪化の一途をたどり、国連等が介入するも関係は改善されず。

1月某日、日本への影響を現時点で見通すことは困難であるが、万一の事態に備え、国は事前に関係する各地方公共団体（沖縄県含む）及び指定公共機関等の関係機関と接触を開始。

政府は、武力攻撃予測事態の認定に至るかは不明だが、先島諸島の住民を県外へ避難させる可能性もあると判断し、引き続き武力紛争を回避すべく外交努力を継続する一方、沖縄県に、事前の連携体制の構築等を依頼。

1月某日、県は、沖縄県危機管理対策本部を設置し、先島諸島市町村及び関係機関と避難に関する各種調整を開始。

※国民保護に係る連携等について訓練するための仮定の想定であり、  
特定の事態を想定したものではない。  
また、政府の対応の流れも実際には事態によって一様でない。

# 避難措置の指示（案）の概要

訓練用

沖縄県全域を要避難地域として、特に、先島諸島5市町村の住民等約12万人を、九州各県及び山口県で受け入れることを基本として避難を検討。また、避難の交通手段は原則公共交通機関とし、努めて早期に住民の避難が完了するよう検討。

## 避難措置の指示（案）

- ①沖縄県全域を要避難地域とする。
- ②先島諸島5市町村は島外（県外）避難、その他県内市町村は屋内避難
- ③避難先地域は、九州各県及び山口県

先島諸島の市町村の人口

| 郡      | 市町村名 | 人口(人)   |
|--------|------|---------|
| 宮古・八重山 | 宮古島市 | 55,583  |
|        | 石垣市  | 49,821  |
|        | 竹富町  | 4,204   |
|        | 与那国町 | 1,689   |
|        | 多良間村 | 1,040   |
| 計      |      | 112,337 |

(出典)  
令和7年1月1日現在住民基本台帳人口

このほか、約1万人の入域者が島外避難が必要な地域に滞在と想定

## 要避難地域

### 屋内避難

### 島外避難

先島諸島

### 八重山地域

与那国町  
人口:1,689人

竹富町  
人口:4,204人

石垣市  
人口:49,821人

与那国島

鳩間島

西表島

小浜島

石垣島

竹富島

黒島

波照間島

水納島

多良間島

多良間村  
人口:1,040人

・大神島

宮古島

宮古島市  
人口:55,583人

### 宮古地域

## 避難先地域



武力攻撃のおそれのない安全が確保されると想定される地域

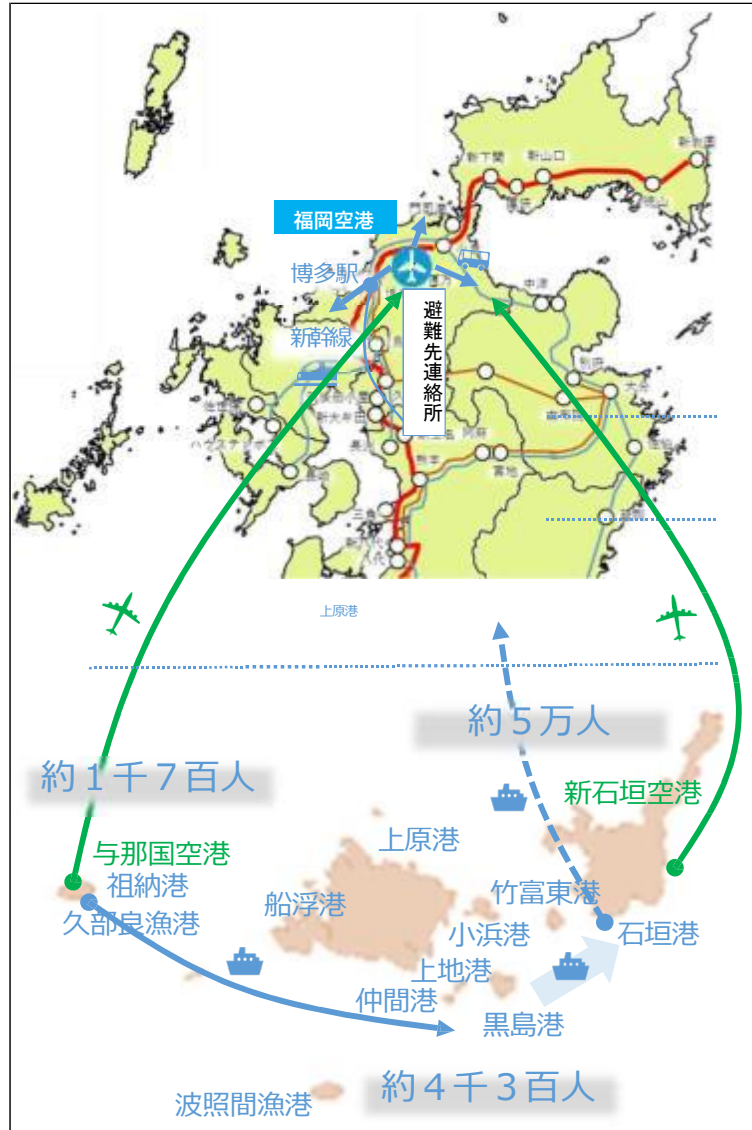
九州各県及び山口県

※九州・山口9県は武力攻撃災害等時の相互応援協定あり

※現時点においては、要避難地域を含む全ての地域で安全が確保されている。  
※本指示（案）の概要は、今後沖縄県内の住民避難に係る要領等を具体化するための前提であり、特定の事態を想定したものではない。

# 県の避難の指示（案：八重山地域）の概要

訓練用



## 1 要避難地域（島外避難）

石垣市、竹富町、与那国町（全住民対象）

## 2 避難先地域

九州各県及び山口県

## 3 主要な避難の経路・避難のための交通手段

・島内は石垣市、竹富町及び与那国町の避難実施要領による

・島外避難について、航空機・フェリー

### 【空路】

①与那国空港～福岡空港

②新石垣空港～福岡空港～（博多駅～各駅）～主要国道・県道～避難先自治体

### 【海路】

①祖納港・久部良漁港～石垣港～空路②又は海路③

②竹富東港・小浜港・黒島港・上地港・仲間港・上原港・波照間漁港・船浮港～石垣港～空路②又は海路③

③石垣港～平良港～那覇港～鹿児島港（調整中）

## 4 住民避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要

・市町村による避難実施要領案の作成等

・県警察本部による交通規制等（国の措置事項を確認中）

・自衛隊、海上保安庁による救援等（国の措置事項を確認中）

※その他の措置について国の措置事項を確認中

## 5 避難の時期等

・避難開始時期：事態認定後、直ちに開始できるよう準備

・避難完了時期：努めて早期に完了

## 6 輸送力の検討状況

輸送力の検討状況等は次頁以降

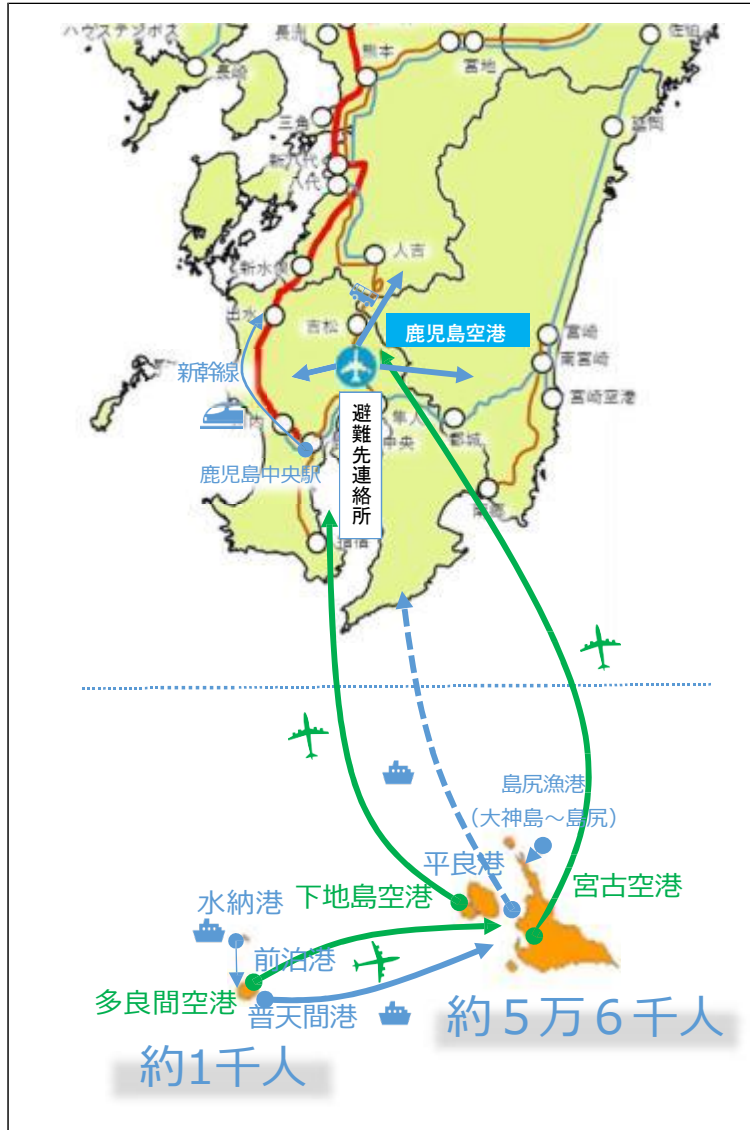
## 7 要配慮者の検討状況

要配慮者の検討状況等は次頁以降

県としては、避難措置の指示（案）に基づき、要避難地域（島外避難）の住民等約12万人について、要避難地域を除く九州各県及び山口県への避難を前提として、速やかに主要な避難の経路や輸送手段等を検討。

# 県の避難の指示（案：宮古地域）の概要

訓練用



## 1 要避難地域（島外避難）

宮古島市、多良間村（全住民対象）

## 2 避難先地域

九州各県及び山口県

## 3 主要な避難の経路・避難のための交通手段

- ・島内は宮古島市及び多良間村の避難実施要領による
- ・島外避難について、航空機・フェリー

### 【空路】

- ①多良間空港～宮古空港
- ②宮古空港・下地島空港～鹿児島空港～（鹿児島中央駅～各駅）  
～主要国道・県道～避難先自治体

### 【海路】

- ①普天間港・前泊港～平良港～空路②又は海路④
- ②大神島～島尻漁港（大神～島尻）
- ③水納港～前泊港
- ④平良港～那覇港～鹿児島港（調整中）

## 4 住民避難に関して関係機関が講ずべき措置の概要

- ・市町村による避難実施要領案の作成等
  - ・県警察本部による交通規制等（国の措置事項を確認中）
  - ・自衛隊、海上保安庁による救援等（国の措置事項を確認中）
- ※その他の措置について国の措置事項を確認中

## 5 避難の時期等

- ・避難開始時期：事態認定後、直ちに開始できるよう準備
- ・避難完了時期：努めて早期に完了

## 6 輸送力の検討状況

輸送力の検討状況等は次頁以降

## 7 要配慮者の検討状況

要配慮者の検討状況等は次頁以降

県としては、避難措置の指示（案）に基づき、要避難地域（島外避難）の住民等約12万人について、要避難地域を除く九州各県及び山口県への避難を前提として、速やかに主要な避難の経路や輸送手段等を検討。



# 主要な避難経路（避難先地域）の考え方

訓練用



## 1 避難先地域の拠点空港（案）

空港の平素の利用人数、各県の受入れ可能性、さらには受入県を広げる場合の移動を考慮して、福岡空港及び鹿児島空港での受入れを想定し、国、航空会社等と調整中

## 2 避難先地域の拠点港（案）

鹿児島港での受入れを想定し、近海区域を航行可能な船舶の確保に向け、国等と調整中

## 3 陸路経路（案）

空港受入れ後は、バス又は鉄道で各避難先自治体へ移動する。

※避難先地域の県及び市町村との空港受入れ後の避難・救援の具体的実施方法については、今後、連携要領等も含めて具体化

## 1 島外避難のための交通手段の調整

### （１）航空輸送力及びその実行性の確保

ア 円滑な避難誘導のための体制整備等の実行性向上（実地確認の実施）

- ・石垣市において、空港内及び空港到着前の事前住民登録等の避難一案を、実地で確認・検証
- ・石垣市の実地確認結果等を踏まえた宮古島市における空港等での避難要領の改善

イ 受入空港のスポット計画一案の作成

- ・受入空港（福岡空港、鹿児島空港）におけるスポット計画及び誘導パターンについて、避難元空港の計画に基づき一案を作成

### （２）船舶輸送力の確保

ア 近海区域（沖縄本島-宮古島間）を航行できる船舶の更なる確保に向けた調整

- ・民間船、公船を問わず、あらゆる候補船の洗い出し。課題を改めて確認。
- ・沖-宮間を航行できる船舶を当該区間で最大限活用するため、沖縄本島で乗り継ぐ経路も検討。

イ 船舶の役割及び現物確認を踏まえた、候補船の役割分担の整理

- ・現物確認（海上保安庁巡視船、県実習船、自衛隊 P F I 船）の結果等を踏まえ、候補船における搬送対象者を整理。
- ・候補船を役割に応じて最大限活用するための方策案（車両甲板の活用等）の検討

ウ 使用する候補岸壁の洗い出し及び候補船の着岸可否などの整理

エ 船舶に乗船するまでの避難誘導パターンの検討

オ ペット、家畜の船舶による搬送について、現状と課題を踏まえた、避難実施要領の検討方針を整理。荷物の別送についても、現状と課題の整理を実施



## 2 要配慮者等の避難に係る調整

ア 市町村ごとの対象人数規模の把握（行政支援の需要の把握）

- ・人口規模の大きい市も含め、行政支援が必要な要配慮者の規模を概数把握

イ 医療関係者の意見等を踏まえた搬送区分別の搬送手段及び付添体制の整理

ウ 避難者の負担軽減等の観点から、航空機の更なる活用方策の検討

エ 域外搬送手段の最終判断を行う「救護所」や搭乗までの医療的ケアのための「SCU」の設置の考え方等を整理

オ 市町村において、医療機関や社会福祉施設、在宅の方の避難実施要領をモデル的に検討

## 3 各市町村の避難実施要領案の精緻化

(1) 広域避難の検討状況の進捗も踏まえて、各市町村で避難実施要領の精緻化を実施

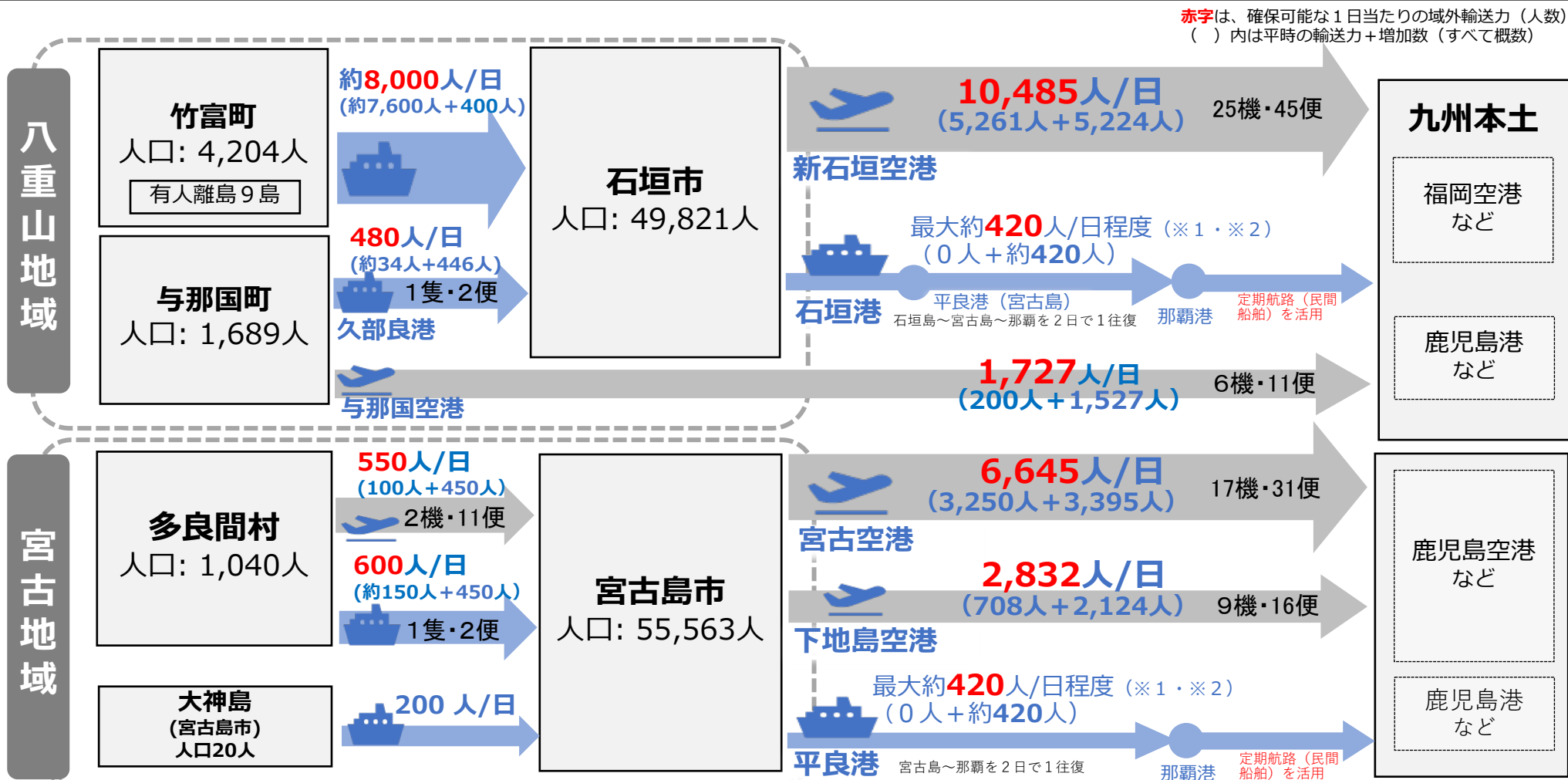
- ・「避難（輸送）経路の設定」、「住民避難登録センターの運用」について、要配慮者避難のモデル施設における検討や在宅要配慮者の避難検討、実地確認を踏まえてJHTCの要領の精緻化を実施。
- ・これまで検討着手の状況が様々であった「ライフラインの確保・維持」、「住民避難に係る職員等配置」、「家畜・ペットの取扱い」については、必要な市町村の全てにおいて検討を実施。
- ・船舶による搬送の具体化に向けて、候補岸壁の選定や船舶に乗船するまでの避難誘導の要領の一案を作成。
- ・「住民広報（住民意見交換会等）」の実施については、石垣市、与那国町において、住民意見交換会を実施。

# **1 島外避難のための交通手段の調整**

# 輸送力の確保（令和7年1月の確保イメージ）

訓練用

- 輸送力の最大化について、各空港の駐機スポットの最大限の活用や船舶の臨時定員の調整等により、平時の2倍を超える**1日約2万人の島外輸送力を確保**できる見込み。  
（約12万人の住民等は、単純計算で**6日程度で九州へ避難する輸送力が確保**できる見込み。）
- 特に船舶に関し、いわゆる沖-宮海峡を航行可能な船舶の更なる確保について、引き続き調整。



※1 候補アセット：民間チャーター船1隻(定員185名)、NPO保有船1隻(40名)、県実習船1隻(70名)、自衛隊PFI船2隻(各500名)、海保巡視船2隻(各200名)

※2 自衛隊のPFI船及び海保アセットの確保可能性は事案対処の状況による

※3 各種調整数値は、今後、変動する可能性がある

## **（１） 航空輸送力及びその実行性の確保**

## 1 前回（第X+1回）会議までの調整状況

### （1）民間輸送力の確保

- ア 指定公共機関等と調整の上、各空港のスポットを最大限活用した場合の輸送力を案出
- イ スポット活用案の実行性向上の調整（基本的考え方、スポット別役割分担等）

### （2）円滑な避難誘導のための体制整備、連携強化

- ア 空港内の避難誘導要領（臨時レーン設置等）や関係者間の連携要領の一案作成
- イ 空港到着前の事前住民登録等に関する要領（住民避難登録センターの設置等）の一案作成

## 2 前回（第X+1回）会議以降の調整内容 （今回調整事項）

### （1）円滑な避難誘導のための体制整備等の実行性向上（実地確認の実施）

- ア 石垣市において、空港内及び空港到着前の事前住民登録等の要領一案を、実地で確認・検証
- イ 石垣市の実地確認結果等を踏まえた宮古島市における空港等での避難要領の改善

### （2）受入空港のスポット計画一案の作成

- ア 受入空港（福岡空港、鹿児島空港）におけるスポット計画及び誘導パターンについて、避難元空港の計画に基づき一案を作成



## 1 航空機運用に当たっての安全は確保

## 2 避難元空港の通常の運用時間の範囲を基本とし実施

- ▶新石垣空港：8：00～21：00
  - ▶宮古空港：8：00～21：00
  - ▶下地島空港：8：00～19：30
  - ▶多良間空港：8：00～18：00
  - ▶与那国空港：8：00～19：30
- } ※地元ニーズを踏まえ、運用時間を超えて先行的に調整

※受入側空港の運用時間は、別途関係機関と調整のうえ前提を設定する

## 3 可能な限り迅速かつ円滑な避難を主眼とした運用

- ▶輸送時の安全に最大限配慮しつつ、許認可や手続等の簡素化、法令等の弾力的運用に配慮
- ▶避難元空港へ到着する入域者・貨物はないものと仮定して検討

## 4 搭乗までの住民等の避難誘導要領は各市町村が主体となって計画

- ▶各エアライン等は、各市町村と連携して手続や保安検査等を実施
- ▶預入荷物なし、バッグ1個を基本

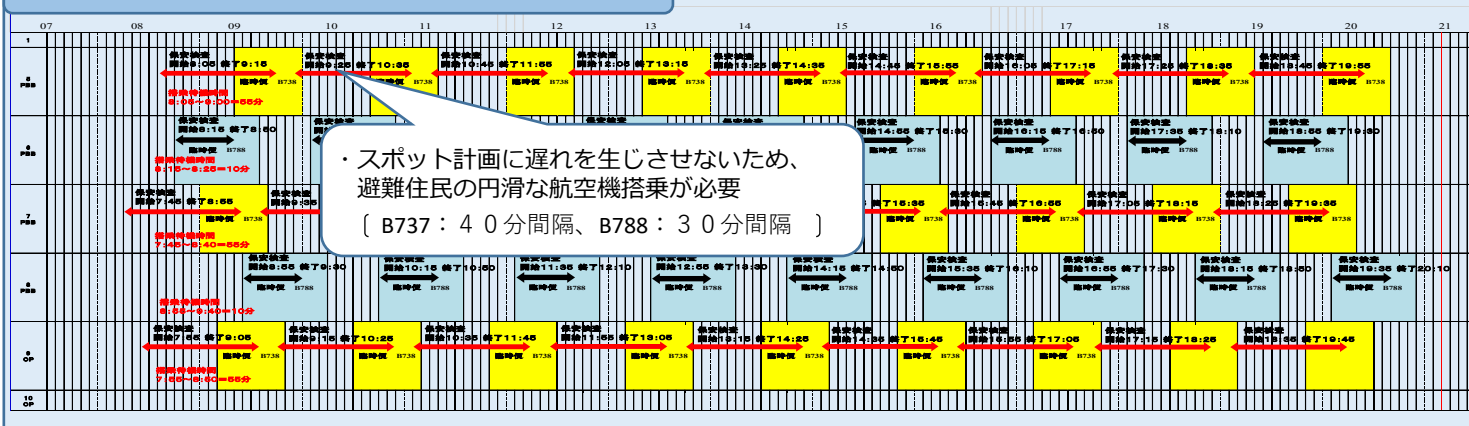
## 5 特定公共施設利用法に基づく飛行場施設（宮古、下地島、多良間、新石垣、与那国）は、国民保護措置に優先利用

- ▶当該空港は国民保護措置を実施する間、定期便は原則として欠航

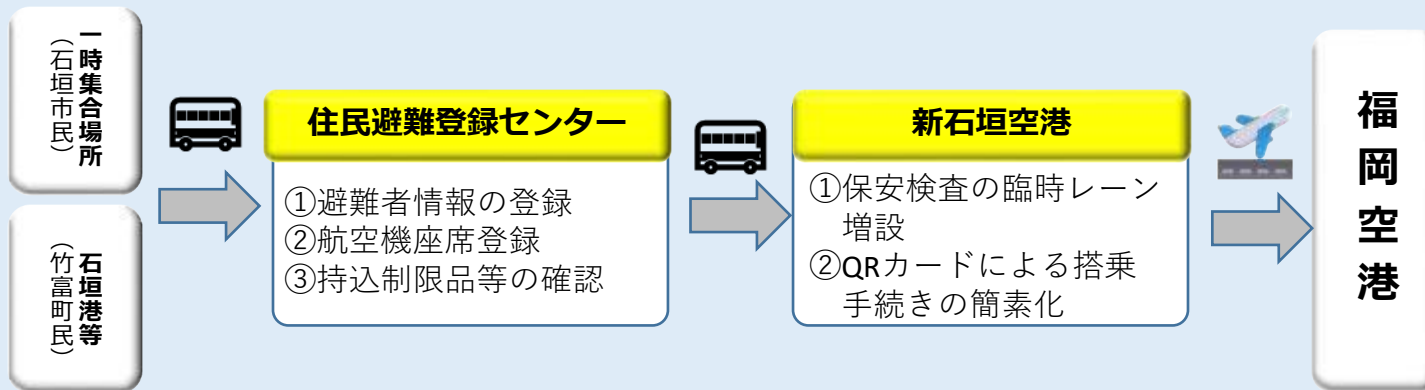
# 航空輸送力確保の具体策について

- 航空輸送力の最大限の活用、つまりスポットを最大限活用するため、下記の①、②が必要と整理。
  - ①避難者の円滑な航空機搭乗のため、事前の避難者情報や座席の登録、空港での保安検査の負担軽減
  - ②航空機の離発着の円滑化のため、避難者の荷物のルールづくりや、空港での保安検査能力の拡充
- 上記①については、「住民避難登録センター（JHTC）」を設置、②については、原則、避難者の荷物を手荷物のみとし、サイズを統一した上で、空港において保安検査の「臨時レーン」を設置等。

## スポット計画（石垣市の例）



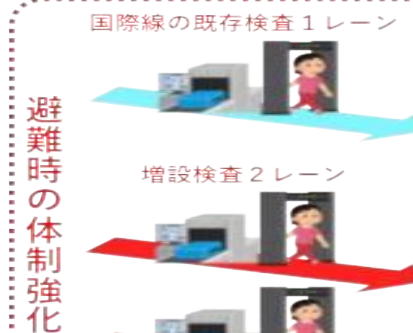
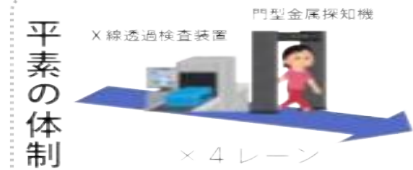
## 住民避難の流れ（石垣市の例）



## 保安検査の臨時レーン

- ・円滑な航空機搭乗のため、保安検査レーンを増設
- 新石垣空港：3レーン（国際線既存レーン含む）
- 宮古空港：2レーン
- 下地島空港：1レーン（国際線既存レーン）

## 石垣市の例



# 航空輸送力確保の具体策の实地確認について

訓練用

- 「住民避難登録センター」や、「空港における臨時レーンの設置及び円滑な避難誘導」の実行性向上のため、国・沖縄県・先島の5市町村、航空会社等の関係機関が参加し、
  - ①「住民避難登録センター」については、石垣市中央運動公園屋内練習場において、16機関約140人規模
  - ②「空港における臨時レーンの設置等」については、新石垣空港において、35機関約270人規模で实地確認を実施。

## JHTC实地確認



(座席登録の様子)



(受付の様子)



(手荷物確認の様子)

## 新石垣空港实地確認



(搭乗手続の様子)



(最大滞留状況)



訓練用

- : 市役所職員    ● : 町役所職員

➡ : LINE登録者動線

➡ : 通常動線





訓練用

- 
- | 機関        | 凡例 | 人数  |
|-----------|----|-----|
| 市町村(現地本部) | 誘  | 27人 |
| 市町村(誘導)   | 本  | 3人  |
| エアライン     | 誘  | 14人 |
| 警察        | 警  | 13人 |
| 保安検査会社    | 保  | 35人 |
- ・保安検査能力拡充のため、臨時レーンを増設
- ・待機場所の環境改善のため、椅子の設置やベルトコンベアへ座るよう誘導
- ・危険物所持制限区域を物理的に区分けできるよう、手荷物受取場前に検査機器の移設
- ・保安検査要員確保のため、通常より少ない人数(3人)での検査を検証したが、5人必要との結論となった。今後要員確保策の検討が課題
- 国際線既存レーン(保安要員)
- 臨時増設レーン(機器+保安要員)
- 手荷物受取場
- 動物検査
- 植物検査
- 税関
- 18

## 1 受入空港の運用時間（離着陸時間）の設定

- ▶ 原則として、避難元空港の運用計画に基づく離着陸時間を基本とし、弾力的な運用を行う。

平時の空港運用時間（利用時間）

■福岡空港：24時間（利用時間7:00～22:00）

■鹿児島空港：7:00～22:00

【参考】 □新石垣空港：8:00～21:00 □宮古空港：8:00～21:00 □下地島空港：8:00～19:30

□多良間空港：8:00～18:00 □与那国空港：8:00～19:30

※一部の空港は運用時間の延長を想定

## 2 避難元空港からの受入空港までに要するフライト時間

【フライト時間】

- ▶ 新石垣空港～福岡空港（2時間）
- ▶ 与那国空港～福岡空港（2時間10分）
- ▶ 宮古空港～鹿児島空港（1時間30分）
- ▶ 下地島空港～鹿児島空港（1時間30分）

※平時において定期便が就航していない路線があることから仮定的に航空会社等のご意見を踏まえフライト時間を設定

## 3 空港の優先利用

- ▶ 特定公共施設利用法に基づく飛行場施設として、国民保護措置に優先利用となるが、国際線及び離島路線は定期便の維持を追求する。

## 4 ナイトステイ（夜間駐機）

- ▶ 使用される航空機は受入空港等にてナイトステイ（夜間駐機）することを基本とするが、乗務員入替え及び機体整備に応じて各航空会社にて設定する。

## ○駐機スポットの考え方

B788：PBB付の誘導動線の比較的単純なスポットに割当て

B738：ターミナル内の混雑、移動距離を考慮して、オープンスポットにをメインに割当て

## ○グランドハンドリング関連

新石垣空港及び与那国空港からの臨時便のみ運航される場合は現有体制の範囲で対応可能

## ○給油

人員制（シフト制）は概ね対応可 ※今後も引き続き検討



- = 使用スポット
- = ナイトステイ専用
- = 未使用スポット
- 青数字 = ANA/SNJの便
- 赤数字 = JAL/JTAの便

- E : 大型機スポット
- C : 小型機スポット
- C/E : マルチスポット





# 【参考】福岡空港における駐機時間表①

訓練用

○与那国空港からの航空便(JTA738:6機)

| 機体<br>番号 | 便名 | 使用<br>スポット | 那覇発               | → | 与那国着             | 与那国発  | → | 使用<br>スポット | 福岡着                | 福岡発   | 便名 | 福岡発<br>(那覇経由)    | → | 与那国着          | 与那国発  | → | 使用<br>スポット | 福岡着   | 福岡発 |
|----------|----|------------|-------------------|---|------------------|-------|---|------------|--------------------|-------|----|------------------|---|---------------|-------|---|------------|-------|-----|
|          |    |            |                   |   | 与那国駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(1時間30分) |       |    | 与那国駐機時間<br>(40分) |   | 福岡駐機時間<br>(一) |       |   |            |       |     |
| ①        | 1  | 要調整        | 与那国着時間に<br>合わせた出発 | → | 8:20             | 9:00  | → | 19         | 11:10              | 12:40 | 7  | 12:40            | → | 15:40         | 16:20 | → | 19         | 18:30 | 要調整 |
| ②        | 2  |            |                   | → | 9:30             | 10:10 | → | 20         | 12:20              | 13:50 | 8  | 13:50            | → | 16:50         | 17:30 | → | 20         | 19:40 |     |
| ③        | 3  |            |                   | → | 10:40            | 11:20 | → | 23         | 13:30              | 15:00 | 9  | 15:00            | → | 18:00         | 18:40 | → | 23         | 20:50 |     |
| ④        | 4  |            |                   | → | 11:50            | 12:30 | → | 19         | 14:40              | 16:10 | 10 | 16:10            | → | 19:10         | 19:50 | → | 24         | 22:00 |     |
| ⑤        | 5  |            |                   | → | 13:00            | 13:40 | → | 20         | 15:50              | 17:20 | 11 | 17:20            | → | 20:20         | 21:00 | → | 25         | 23:10 |     |
| ⑥        | 6  |            |                   | → | 14:10            | 14:50 | — |            |                    |       |    |                  |   |               |       | → | 26         | 17:00 |     |

※福岡空港のスポット計画においては夜間駐機用のスポットを予備的に確保

○新石垣空港6番スポットからの航空便(ANA788:5機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 福岡発   | → | 新石垣着             | 新石垣発  | → | 使用<br>スポット | 福岡着                | 福岡発   | 便名  | 福岡発   | → | 新石垣着             | 新石垣発  | → | 使用<br>スポット | 福岡着                 | 福岡発   | 使用<br>スポット |
|----------|-----|------------|-------|---|------------------|-------|---|------------|--------------------|-------|-----|-------|---|------------------|-------|---|------------|---------------------|-------|------------|
|          |     |            |       |   | 新石垣駐機時間<br>(50分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(1時間50分) |       |     |       |   | 新石垣駐機時間<br>(50分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(11時間50分) |       |            |
| ①        | 6-1 | 6          | 6:15  | → | 8:15             | 9:05  | → | 8          | 11:05              | 12:55 | 6-6 | 12:55 | → | 14:55            | 15:45 | → | 7          | 17:45               | 7:35  | 54         |
| ②        | 6-2 | 54         | 7:35  | → | 9:35             | 10:25 | → | 7          | 12:25              | 14:15 | 6-7 | 14:15 | → | 16:15            | 17:05 | → | 8          | 19:05               | 8:55  | 8          |
| ③        | 6-3 | 8          | 8:55  | → | 10:55            | 11:45 | → | 8          | 13:45              | 15:35 | 6-8 | 15:35 | → | 17:35            | 18:25 | → | 7          | 20:25               | 10:15 | 7          |
| ④        | 6-4 | 7          | 10:15 | → | 12:15            | 13:05 | → | 7          | 15:05              | 16:55 | 6-9 | 16:55 | → | 18:55            | 19:45 | → | 28         | 21:45               | 11:35 | 28         |
| ⑤        | 6-5 | 28         | 11:35 | → | 13:35            | 14:25 | → |            |                    |       |     |       | → |                  |       | → | 8          | 16:25               | 6:15  | 6          |

○新石垣空港8番スポットからの航空便(ANA788:5機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 福岡発   | → | 新石垣着 新石垣発        |       | → | 使用<br>スポット | 福岡着 福岡発            |       | 便名  | 福岡発   | → | 新石垣着 新石垣発        |       | → | 使用<br>スポット | 福岡着 福岡発             |       | 使用<br>スポット |
|----------|-----|------------|-------|---|------------------|-------|---|------------|--------------------|-------|-----|-------|---|------------------|-------|---|------------|---------------------|-------|------------|
|          |     |            |       |   | 新石垣駐機時間<br>(50分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(1時間50分) |       |     |       |   | 新石垣駐機時間<br>(50分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(11時間50分) |       |            |
| ⑥        | 8-1 | 55         | 6:55  | → | 8:55             | 9:45  | → | 9          | 11:45              | 13:35 | 8-6 | 13:35 | → | 15:35            | 16:25 | → | 10         | 18:25               | 8:15  | 56         |
| ⑦        | 8-2 | 56         | 8:15  | → | 10:15            | 11:05 | → | 10         | 13:05              | 14:55 | 8-7 | 14:55 | → | 16:55            | 17:45 | → | 9          | 19:45               | 9:35  | 9          |
| ⑧        | 8-3 | 9          | 9:35  | → | 11:35            | 12:25 | → | 9          | 14:25              | 16:15 | 8-8 | 16:15 | → | 18:15            | 19:05 | → | 10         | 21:05               | 10:55 | 10         |
| ⑨        | 8-4 | 10         | 10:55 | → | 12:55            | 13:45 | → | 10         | 15:45              | 17:35 | 8-9 | 17:35 | → | 19:35            | 20:25 | → | 29         | 22:25               | 12:15 | 29         |
| ⑩        | 8-5 | 29         | 12:15 | → | 14:15            | 15:05 | → |            |                    |       |     |       | → |                  |       | → | 9          | 17:05               | 6:55  | 55         |

※このフライトスケジュールについては、様々な関係機関等のご意見を踏まえてより実効性の高いものとなるよう精査していく方針

# 【参考】福岡空港における駐機時間表②

訓練用

○新石垣空港5番スポットからの航空便(ANA/SNJ738:5機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 福岡発   | → | 新石垣着             | 新石垣発  | → | 使用<br>スポット | 福岡着             | 福岡発   | 便名  | 福岡発   | → | 新石垣着         | 新石垣発  | → | 使用<br>スポット | 福岡着              | 福岡発   | 使用<br>スポット |
|----------|-----|------------|-------|---|------------------|-------|---|------------|-----------------|-------|-----|-------|---|--------------|-------|---|------------|------------------|-------|------------|
|          |     |            |       |   | 新石垣駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(2時間) |       |     |       |   | 新石垣駐機時間(40分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(12時間) |       |            |
| ①        | 5-1 | 50L        | 6:50  | → | 8:50             | 9:30  | → | 13         | 11:30           | 13:30 | 5-6 | 13:30 | → | 15:30        | 16:10 | → | 16         | 18:10            | 8:10  | 50R        |
| ②        | 5-2 | 50R        | 8:10  | → | 10:10            | 10:50 | → | 16         | 12:50           | 14:50 | 5-7 | 14:50 | → | 16:50        | 17:30 | → | 13         | 19:30            | 9:30  | 13         |
| ③        | 5-3 | 13         | 9:30  | → | 11:30            | 12:10 | → | 13         | 14:10           | 16:10 | 5-8 | 16:10 | → | 18:10        | 18:50 | → | 16         | 20:50            | 10:50 | 16         |
| ④        | 5-4 | 16         | 10:50 | → | 12:50            | 13:30 | → | 16         | 15:30           | 17:30 | 5-9 | 17:30 | → | 19:30        | 20:10 | → | 17         | 22:10            | 12:10 | 17         |
| ⑤        | 5-5 | 17         | 12:10 | → | 14:10            | 14:50 | → |            |                 |       |     |       | → |              |       | → | 13         | 16:50            | 6:50  | 50L        |

○新石垣空港7番スポットからの航空便(JAL/JTA738:5機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 福岡発   | → | 新石垣着             | 新石垣発  | → | 使用<br>スポット | 福岡着             | 福岡発   | 便名  | 福岡発   | → | 新石垣着             | 新石垣発  | → | 使用<br>スポット | 福岡着              | 福岡発   | 使用<br>スポット |
|----------|-----|------------|-------|---|------------------|-------|---|------------|-----------------|-------|-----|-------|---|------------------|-------|---|------------|------------------|-------|------------|
|          |     |            |       |   | 新石垣駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(2時間) |       |     |       |   | 新石垣駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(12時間) |       |            |
| ⑥        | 7-1 | 51L        | 6:30  | → | 8:30             | 9:10  | → | 14         | 11:10           | 13:10 | 7-6 | 13:10 | → | 15:10            | 15:50 | → | 27         | 17:50            | 7:50  | 51R        |
| ⑦        | 7-2 | 51R        | 7:50  | → | 9:50             | 10:30 | → | 27         | 12:30           | 14:30 | 7-7 | 14:30 | → | 16:30            | 17:10 | → | 14         | 19:10            | 9:10  | 14         |
| ⑧        | 7-3 | 14         | 9:10  | → | 11:10            | 11:50 | → | 14         | 13:50           | 15:50 | 7-8 | 15:50 | → | 17:50            | 18:30 | → | 27         | 20:30            | 10:30 | 27         |
| ⑨        | 7-4 | 27         | 10:30 | → | 12:30            | 13:10 | → | 27         | 15:10           | 17:10 | 7-9 | 17:10 | → | 19:10            | 19:50 | → | 18         | 21:50            | 11:50 | 18         |
| ⑩        | 7-5 | 18         | 11:50 | → | 13:50            | 14:30 | → |            |                 |       |     |       | → |                  |       | → | 14         | 16:30            | 6:30  | 51L        |

○新石垣空港9番スポットからの航空便(JAL/JTA738:5機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 福岡発   | → | 新石垣着             | 新石垣発  | → | 使用<br>スポット | 福岡着             | 福岡発   | 便名  | 福岡発   | → | 新石垣着             | 新石垣発  | → | 使用<br>スポット | 福岡着              | 福岡発   | 使用<br>スポット |
|----------|-----|------------|-------|---|------------------|-------|---|------------|-----------------|-------|-----|-------|---|------------------|-------|---|------------|------------------|-------|------------|
|          |     |            |       |   | 新石垣駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(2時間) |       |     |       |   | 新石垣駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 福岡駐機時間<br>(12時間) |       |            |
| ⑪        | 9-1 | 52L        | 6:40  | → | 8:40             | 9:20  | → | 15         | 11:20           | 13:20 | 9-6 | 13:20 | → | 15:20            | 16:00 | → | 21         | 18:00            | 8:00  | 52R        |
| ⑫        | 9-2 | 52R        | 8:00  | → | 10:00            | 10:40 | → | 21         | 12:40           | 14:40 | 9-7 | 14:40 | → | 16:40            | 17:20 | → | 15         | 19:20            | 9:20  | 15         |
| ⑬        | 9-3 | 15         | 9:20  | → | 11:20            | 12:00 | → | 15         | 14:00           | 16:00 | 9-8 | 16:00 | → | 18:00            | 18:40 | → | 21         | 20:40            | 10:40 | 21         |
| ⑭        | 9-4 | 21         | 10:40 | → | 12:40            | 13:20 | → | 21         | 15:20           | 17:20 | 9-9 | 17:20 | → | 19:20            | 20:00 | → | 22         | 22:00            | 12:00 | 22         |
| ⑮        | 9-5 | 22         | 12:00 | → | 14:00            | 14:40 |   |            |                 |       |     |       |   |                  |       | → | 15         | 16:40            | 6:40  | 52L        |

※このフライトスケジュールについては、様々な関係機関等のご意見を踏まえてより実効性の高いものとなるよう精査していく方針

## ○駐機スポットの考え方

B788：PBB付スポット、一部オープンスポットに割当て

B738：B788が使用するスポット以外に割当て（一部の便は他空港等での夜間駐機が必要となる）

## ○グランドハンドリング関連

宮古空港からの臨時便のみ運航される場合は現有体制の範囲で対応可能（ANA）

ランプバスが不足（外部調達等で可）、PBL車がないためオープンスポットでの車椅子対応不可（JAL/JTA）

ランプ作業員の増員が必要（スカイマーク）

## ○給油

人員制（シフト制）は概ね対応可 ※今後も引き続き検討



# 【参考】 鹿児島空港における駐機時間表①

訓練用

○宮古空港5番スポットからの航空便(ANA788:4機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 鹿児島<br>発 | →               | 宮古着                 | 宮古発             | →                   | 使用<br>スポット      | 鹿児島着                | 鹿児島発            | 便名  | 鹿児島発                | →               | 宮古着                  | 宮古発   | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着  | 鹿児島発  | 便名  | 鹿児島発  | → | 宮古着   | 宮古発   | →     | 使用<br>スポット | 鹿児島着  | 鹿児島発  | 使用<br>スポット |
|----------|-----|------------|----------|-----------------|---------------------|-----------------|---------------------|-----------------|---------------------|-----------------|-----|---------------------|-----------------|----------------------|-------|---|------------|-------|-------|-----|-------|---|-------|-------|-------|------------|-------|-------|------------|
|          |     |            |          | 宮古駐機時間<br>(45分) | 鹿児島駐機時間<br>(1時間40分) | 宮古駐機時間<br>(45分) | 鹿児島駐機時間<br>(1時間40分) | 宮古駐機時間<br>(45分) | 鹿児島駐機時間<br>(1時間40分) | 宮古駐機時間<br>(45分) |     | 鹿児島駐機時間<br>(1時間40分) | 宮古駐機時間<br>(45分) | 鹿児島駐機時間<br>(12時間55分) |       |   |            |       |       |     |       |   |       |       |       |            |       |       |            |
| ①        | 5-1 | 他空港        | -        | →               | 8:15                | 9:00            | →                   | 5               | 10:30               | 12:10           | 5-5 | 12:10               | →               | 13:55                | 14:40 | → | 5          | 16:10 | 17:50 | 5-9 | 17:50 | → | 19:35 | 20:20 | →     | 1          | 21:50 | 10:45 | 1          |
| ②        | 5-2 | 他空港        | -        | →               | 9:40                | 10:25           | →                   | 1               | 11:55               | 13:35           | 5-6 | 13:35               | →               | 15:20                | 16:05 | → |            |       |       |     |       |   | →     | 1     | 17:35 | 18:35      | 他空港   |       |            |
| ③        | 5-3 | 5          | 9:20     | →               | 11:05               | 11:50           | →                   | 5               | 13:20               | 15:00           | 5-7 | 15:00               | →               | 16:45                | 17:30 | → |            |       |       |     |       |   | →     | 5     | 19:00 | 20:00      | 他空港   |       |            |
| ④        | 5-4 | 1          | 10:45    | →               | 12:30               | 13:15           | →                   | 1               | 14:45               | 16:25           | 5-8 | 16:25               | →               | 18:10                | 18:55 | → |            |       |       |     |       |   | →     | 5     | 20:25 | 9:20       | 5     |       |            |

○宮古空港3番スポットからの航空便(JAL/JTA738:5機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 鹿児島<br>発 | → | 宮古着             | 宮古発   | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着             | 鹿児島発  | 便名   | 鹿児島<br>発 | → | 宮古着             | 宮古発   | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着             | 鹿児島発  | 便名   | 鹿児島<br>発 | → | 宮古着             | 宮古発   | →     | 使用<br>スポット | 鹿児島着                 | 鹿児島発  | 使用<br>スポット |
|----------|-----|------------|----------|---|-----------------|-------|---|------------|------------------|-------|------|----------|---|-----------------|-------|---|------------|------------------|-------|------|----------|---|-----------------|-------|-------|------------|----------------------|-------|------------|
|          |     |            |          |   | 宮古駐機時間<br>(35分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(2時間) |       |      |          |   | 宮古駐機時間<br>(35分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(2時間) |       |      |          |   | 宮古駐機時間<br>(35分) |       |       |            | 鹿児島駐機時間<br>(13時間10分) |       |            |
| ①        | 3-1 | 他空港        | -        | → | 8:30            | 9:05  | → | 18         | 10:35            | 12:35 | 3-6  | 12:35    | → | 14:20           | 14:55 | → | 17         | 16:25            | 18:25 | 3-11 | 18:25    | → | 20:10           | 20:45 | →     | 17         | 22:15                | 11:25 | 17         |
| ②        | 3-2 | 他空港        | -        | → | 9:40            | 10:15 | → | 17         | 11:45            | 13:45 | 3-7  | 13:45    | → | 15:30           | 16:05 | → |            |                  |       |      |          |   | →               | 18    | 17:35 | 18:35      | →                    | 他空港   |            |
| ③        | 3-3 | 他空港        | -        | → | 10:50           | 11:25 | → | 18         | 12:55            | 14:55 | 3-8  | 14:55    | → | 16:40           | 17:15 | → |            |                  |       |      |          |   | →               | 17    | 18:45 | 19:45      | →                    | 他空港   |            |
| ④        | 3-4 | 18         | 10:15    | → | 12:00           | 12:35 | → | 17         | 14:05            | 16:05 | 3-9  | 16:05    | → | 17:50           | 18:25 | → |            |                  |       |      |          |   | →               | 18    | 19:55 | 20:55      | →                    | 他空港   |            |
| ⑤        | 3-5 | 17         | 11:25    | → | 13:10           | 13:45 | → | 18         | 15:15            | 17:15 | 3-10 | 17:15    | → | 19:00           | 19:35 | → |            |                  |       |      |          |   | →               | 18    | 21:05 | 10:15      | →                    | 18    |            |

○宮古空港6番スポットからの航空便(ANA738:5機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 鹿児島<br>発 | → | 宮古着             | 宮古発   | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着             | 鹿児島発  | 便名   | 鹿児島<br>発 | → | 宮古着             | 宮古発   | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着             | 鹿児島発  | 便名   | 鹿児島<br>発 | → | 宮古着             | 宮古発   | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着                 | 鹿児島発  | 使用<br>スポット |     |
|----------|-----|------------|----------|---|-----------------|-------|---|------------|------------------|-------|------|----------|---|-----------------|-------|---|------------|------------------|-------|------|----------|---|-----------------|-------|---|------------|----------------------|-------|------------|-----|
|          |     |            |          |   | 宮古駐機時間<br>(35分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(2時間) |       |      |          |   | 宮古駐機時間<br>(35分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(2時間) |       |      |          |   | 宮古駐機時間<br>(35分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(13時間10分) |       |            |     |
| ①        | 6-1 | 他空港        | -        | → | 8:00            | 8:35  | → | 4          | 10:05            | 12:05 | 6-6  | 12:05    | → | 13:50           | 14:25 | → | 3          | 15:55            | 17:55 | 6-11 | 17:55    | → | 19:40           | 20:15 | → | 3          | 21:45                | 10:55 | 3          |     |
| ②        | 6-2 | 他空港        | -        | → | 9:10            | 9:45  | → | 11         | 11:15            | 13:15 | 6-7  | 13:15    | → | 15:00           | 15:35 | → |            |                  |       |      |          |   | →               |       |   | →          | 4                    | 17:05 | 18:05      | 他空港 |
| ③        | 6-3 | 2          | 8:35     | → | 10:20           | 10:55 | → | 4          | 12:25            | 14:25 | 6-8  | 14:25    | → | 16:10           | 16:45 | → |            |                  |       |      |          |   | →               |       |   | →          | 3                    | 18:15 | 19:15      | 他空港 |
| ④        | 6-4 | 4          | 9:45     | → | 11:30           | 12:05 | → | 3          | 13:35            | 15:35 | 6-9  | 15:35    | → | 17:20           | 17:55 | → |            |                  |       |      |          |   | →               |       |   | →          | 4                    | 19:25 | 8:35       | 2   |
| ⑤        | 6-5 | 3          | 10:55    | → | 12:40           | 13:15 | → | 4          | 14:45            | 16:45 | 6-10 | 16:45    | → | 18:30           | 19:05 | → |            |                  |       |      |          |   | →               |       |   | →          | 4                    | 20:35 | 9:45       | 4   |

※このフライトスケジュールについては、様々な関係機関等のご意見を踏まえてより実効性の高いものとなるよう精査していく方針

# 【参考】 鹿児島空港における駐機時間表②

訓練用

○下地島空港1番スポットからの航空便(SKY738:3機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 鹿児島<br>発 | → | 下地島着             | 下地島発  | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着               | 鹿児島発  | 便名  | 鹿児島発  | → | 下地島着             | 下地島発  | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着                 | 鹿児島発  | 使用<br>スポット |   |       |       |     |
|----------|-----|------------|----------|---|------------------|-------|---|------------|--------------------|-------|-----|-------|---|------------------|-------|---|------------|----------------------|-------|------------|---|-------|-------|-----|
|          |     |            |          |   | 下地島駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(1時間5分) |       |     |       |   | 下地島駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(16時間45分) |       |            |   |       |       |     |
| ①        | 1-1 | 他空港        | -        | → | 11:00            | 11:40 | → | 6          | 13:10              | 14:15 | 1-4 | 14:15 | → | 16:00            | 16:40 | → | 11         | 18:10                | 10:55 | 11         |   |       |       |     |
| ②        | 1-2 | 11         | 10:55    | → | 12:40            | 13:20 | → | 6          | 14:50              | 15:55 | 1-5 | 15:55 | → | 17:40            | 18:20 | → | 6          | 19:50                | 12:35 | 6          |   |       |       |     |
| ③        | 1-3 | 6          | 12:35    | → | 14:20            | 15:00 | → |            |                    |       |     |       |   |                  |       |   |            |                      |       |            | 6 | 16:30 | 17:30 | 他空港 |

○下地島空港2番スポットからの航空便( SKY738:3機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 鹿児島発  | → | 下地島着 下地島発        |       | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着 鹿児島発          |       | 便名  | 鹿児島発  | → | 下地島着 下地島発        |       | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着 鹿児島発           |       | 使用<br>スポット |
|----------|-----|------------|-------|---|------------------|-------|---|------------|--------------------|-------|-----|-------|---|------------------|-------|---|------------|---------------------|-------|------------|
|          |     |            |       |   | 下地島駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(1時間5分) |       |     |       |   | 下地島駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(13時間5分) |       |            |
| ④        | 2-1 | 他空港        | -     | → | 10:10            | 10:50 | → | 10         | 12:20              | 13:25 | 2-4 | 13:25 | → | 15:10            | 15:50 | → | 10         | 17:20               | 18:20 | 他空港        |
| ⑤        | 2-2 | 他空港        | -     | → | 11:50            | 12:30 | → | 10         | 14:00              | 15:05 | 2-5 | 15:05 | → | 16:50            | 17:30 | → | 10         | 19:00               | 20:00 | 他空港        |
| ⑥        | 2-3 | 10         | 11:45 | → | 13:30            | 14:10 | → | 10         | 15:40              | 16:45 | 2-6 | 16:45 | → | 18:30            | 19:10 | → | 10         | 20:40               | 11:45 | 10         |

○下地島空港3番スポットからの航空便( SKY738:3機)

| 機体<br>番号 | 便名  | 使用<br>スポット | 鹿児島発  | → | 下地島着             | 下地島発  | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着               | 鹿児島発  | 便名  | 鹿児島発  | → | 下地島着             | 下地島発  | → | 使用<br>スポット | 鹿児島着                 | 鹿児島発  | 使用<br>スポット |   |       |       |     |
|----------|-----|------------|-------|---|------------------|-------|---|------------|--------------------|-------|-----|-------|---|------------------|-------|---|------------|----------------------|-------|------------|---|-------|-------|-----|
|          |     |            |       |   | 下地島駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(1時間5分) |       |     |       |   | 下地島駐機時間<br>(40分) |       |   |            | 鹿児島駐機時間<br>(16時間45分) |       |            |   |       |       |     |
| ⑦        | 3-1 | 他空港        | -     | → | 10:35            | 11:15 | → | 9          | 12:45              | 13:50 | 3-4 | 13:50 | → | 15:35            | 16:15 | → | 9          | 17:45                | 18:45 | 他空港        |   |       |       |     |
| ⑧        | 3-2 | 他空港        | -     | → | 12:15            | 12:55 | → | 9          | 14:25              | 15:30 | 3-5 | 15:30 | → | 17:15            | 17:55 | → | 7          | 19:25                | 12:10 | 7          |   |       |       |     |
| ⑨        | 3-3 | 7          | 12:10 | → | 13:55            | 14:35 | → |            |                    |       |     |       |   |                  |       |   |            |                      |       |            | 9 | 16:05 | 17:05 | 他空港 |

※このフライトスケジュールについては、様々な関係機関等のご意見を踏まえてより実効性の高いものとなるよう精査していく方針



## ◎ 受入空港到着後、避難住民の陸上輸送への誘導パターン（案）

- A : 航空機はオープンスポットに駐機、チャーターバスを機側につけ乗換え
- B : パッセンジャーボーディングブリッジを有するスポットに駐機、通常の流れと同様に空港ターミナル内に進入、チャーターバス（又は市営地下鉄※福岡空港）に乗換え
- C : オープンスポットに駐機、構内バスにて空港ターミナルに入り、チャーターバス（又は市営地下鉄※福岡空港）に乗換え



Aパターン



Bパターン



Cパターン

- ▶ 沖縄県（先島5市町村）が主体となり、受入空港における関係機関（大阪航空局福岡空港事務所及び鹿児島空港事務所、福岡国際空港株式会社（FIAC）、各航空会社、空港ターミナルビル会社、九州・山口各県など）と協力の上、誘導要領や避難経路の設定等について引き続き検討。
- 受入空港での現地関係者との連携要領、誘導體制の構築、誘導要領、沖縄県（先島5市町村）の職員配置、避難経路の設定等について引き続き検討。
- 九州・山口各県との連携要領の整理、国民保護法第13条に基づく事務委託の整理、応援内容の整理（法第12条）を含めて引き続き検討。

## **（２） 船舶輸送力の確保**

## 1 前回（第X+1回）会議までの調整状況

### （1）住民避難に関する船舶の役割の整理

ア 市町村における避難の考え方等を踏まえた船舶の役割の具体化  
（航空機で避難できない要配慮者、ペット同伴者等の避難）

### （2）船舶輸送力の最大化

ア 宮古・八重山圏域内の定期航路の臨時旅客定員の増及び課題の検討  
イ 近海区域（沖縄本島-宮古島間）を航行できる船舶の確保の検討  
（指定（地方）公共機関法人保有船、NPO保有船、海上保安庁巡視船、自衛隊PFI船等）

### （3）関係機関の連携体制の確認

## 2 前回（第X+1回）会議以降の調整内容（今回調整事項）

### （1）近海区域（沖縄本島-宮古島間）を航行できる船舶の更なる確保に向けた調整

ア 民間船、公船を問わず、あらゆる候補船の洗い出し。課題を改めて確認  
イ 沖-宮間を航行できる船舶を当該区間で最大限活用するため、沖縄本島で乗り継ぐ経路も検討

### （2）船舶の役割及び現物確認を踏まえた、候補船の役割分担の整理

ア 現物確認（海上保安庁巡視船、県実習船、自衛隊PFI船）の結果等を踏まえ、候補船における搬送対象者を整理  
イ 候補船を役割に応じて最大限活用するための方策案（車両甲板の活用等）の検討

### （3）使用する候補岸壁の洗い出し及び候補船の着岸可否などの整理

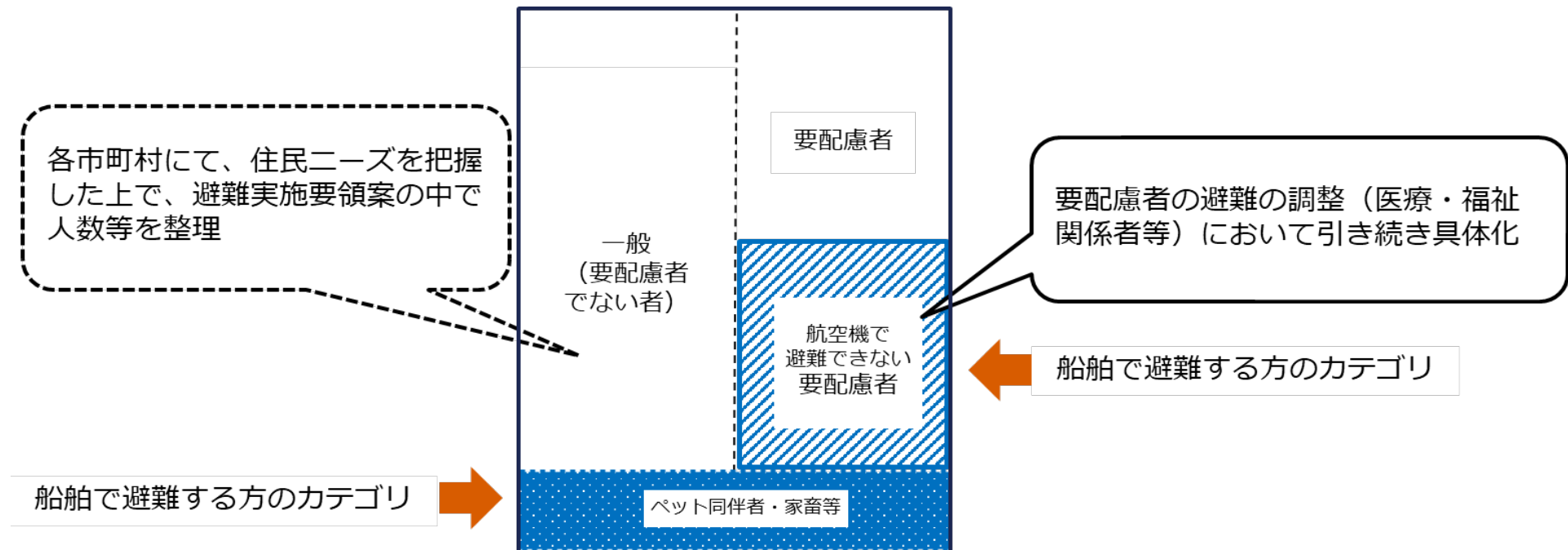
### （4）船舶に乗船するまでの避難誘導パターンの検討

### （5）ペット、家畜の船舶による搬送について、現状と課題を踏まえた、避難実施要領の検討 方針を整理。荷物の別送についても、現状と課題の整理を実施

## 基本的な考え方

- 航空輸送力の調整状況等を踏まえ、航空機による避難を基本とする。
- 船舶は、航空輸送力の補充的な輸送力と位置づけ
  - ・ 要配慮者の方のうち、一般の方と同様に航空機に搭乗できる方は航空機による避難とし、そうでない方は船舶による避難とする。
  - ・ 一般の方であっても、ペットと同伴で避難するような航空機で避難できない方なども、船舶による避難とする。

## 避難住民手段のイメージ



※現時点の案であり、今後の調整に応じて柔軟に対応

# 近海区域（沖縄本島－宮古島間）を航行できる船舶の確保

訓練用

- 現在、沖縄本島と宮古島間の海域は、沿海区域（右図の濃い青色海域）でつながっていない。



- また、沖縄本島-平良港（宮古島）間、沖縄本島-石垣港（石垣島）間の定期旅客航路がない。



- 先島諸島から九州各県及び山口県へ、船舶による避難を行うためには、国民保護措置としての、避難住民の輸送に協力していただける

**「近海区域を航行可能な船舶」**  
を確保する必要がある。

## 船舶安全法に基づく航行区域【沿海区域】

船舶安全法施行規則第一千六百七項（概ね本邦、朝鮮半島及び朝鮮半島の各沿岸から20海里以内の水域）



出典：国土交通省中国運輸局ホームページ（吹出は担当で追加）



# 近海区域（沖一宮海峡）を航行できる船舶の確保

訓練用

- 最大の課題は、沖一宮海峡を航行可能な船舶の確保。
- 前述のとおり、平時において、沖一宮海峡を航行する定期旅客船はないが、近海区域を航行する船舶であれば、沖一宮海峡の航行が可能であるため、関係機関と調整の上、以下を候補としている。

PFI船舶に限らず、様々なア  
セットを幅広く検討する必要

|     | 民間チャーター船                                                                                             | NPO法人保有船                                                                                                                                                          | 県実習船                                                                                                                                       | 自衛隊PFI船                                                                                                                                                                                               | 海保巡視船                                                                                                                                                                                |
|-----|------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 船名  |                     |                                                                                  |                                                          |                                                                                                                    |                                                                                                   |
| 主 船 | 壱岐・対馬フェリー株式会社                                                                                        | ピースウィンズ・ジャパン                                                                                                                                                      | 沖縄県立高等学校                                                                                                                                   | 防衛省                                                                                                                                                                                                   | 海上保安庁                                                                                                                                                                                |
| 概要  | 総トン数 772トン<br>載貨重量 240トン<br>全 長 約77.80m<br>幅 12.50m<br>搭乗人員 <b>185名(旅客)</b><br>(近海仕様:最大)<br>乗組定員 10名 | 総トン数 3,453トン<br>載貨重量 1,231トン<br>全 長 68.0m<br>幅 17.4m<br>搭乗人員 船員11名、<br>旅客12名、<br>その他乗船者26名<br><b>約40名(旅客)</b><br>(最大)<br>※登録上は沿海、近海仕様とする<br>場合別途手続き必要<br>乗組定員 10名 | 総トン数 699トン<br>載貨重量 約350トン<br>全 長 約66m<br>幅 約10m<br>搭乗人員 89名(士官10名、<br>部員13名、教官4<br>名、生徒62名)<br><b>≒約70名</b><br>※40日間航行可能(食糧倉庫、<br>シャワー等あり) | 【ナッチャンworld】<br>総トン数 約10,500トン<br>全 長 約113m<br>幅 約30m<br>搭乗人員 約 <b>500名(旅客)</b><br>車 両 普通車110台<br>大型車50台<br>【はくおう】<br>総トン数 約17,400トン<br>全 長 約199m<br>幅 約25m<br>搭乗人員 約 <b>500名(旅客)</b><br>車 両 大型車約200台 | 近海区域で巡視船に旅客を乗船<br>させる場合、以下の条件を満た<br>す場合に限り、最大限の臨時旅<br>客を乗船可能と整理済み<br>①武力攻撃事態等の認定下<br>②海保の巡視船2隻以上で24時<br>間未満の運用、かつ、最大搭<br>乗人員分の救命胴衣、救命浮<br>器等を搭載する場合<br>※ 搬送対象者の状態によっ<br>ては、乗船可能人数が減少 |
| 特徴  | 指定地方公共機関<br>(福岡県・長崎県)                                                                                | 医療支援可能                                                                                                                                                            | 確保可能性は実習航海の状況によ<br>るといふ、実習船、練習船及びク<br>ルーズ船に共通する課題                                                                                          | 確保可能性は事態対処の状況による<br>※本訓練の想定においては、自衛隊PFI船2隻(各500名)<br>海上保安庁巡視船2隻(各200名)が確保できたものと仮定                                                                                                                     |                                                                                                                                                                                      |

- 船舶輸送力について、官民の船舶アセット（特に沖一宮海峡を航行可能なもの）の確保について検討してきたが、現状、下記のように課題が多くあり、大幅な上積みは困難な状況。

## 民アセット

- 沖一宮海峡（近海区域）を定期航路とする旅客船が存在しない。
- 定期航路外を航行する場合
  - ①近海区域を航行可能か、職員の乗り組み基準や船舶の設備や構造等を個別に検討する必要。
  - ②乗組員の理解や、必要な乗組員等の充足、設備、構造等の確保が必要。
- クルーズ船については、必要となった時に我が国から遠く離れている可能性があり、適時に活用できるかが疑問。
- チャーター契約になると考えられるが、当初予定を変更することによる逸失利益の取扱い。（特にクルーズ船の場合、世界一周航海や1年程度先の予約もあり、影響が極めて大きい）。

## 官アセット

- 大量の人員を輸送する用途の船舶がそもそも少ない。
- 近海区域を航行可能かの検討や、大量の人員を輸送出来るようにするための検討や設備等整備の負担が発生。（海上保安庁の場合は、2隻以上の運航とした上で、救命設備等の予算を確保）
- 「国民の保護に関する基本指針」において、自ら保有する航空機及び船舶により、可能な限り避難住民を運送するとされているのは、防衛省と海上保安庁に限られている。

基本指針に位置づけられている関係省庁に係る船舶の更なる確保や沖一宮海峡間のピストン輸送について検討中。

# 沖縄本島－九州間における船舶の輸送力確保

訓練用

- 近海区域を航行可能な船舶の一定程度の確保は見込めたものの、十分に確保できている訳ではない状況。先島－九州間の距離と航行時間（24時間以上）も踏まえ、沖縄本島（那覇）を経由した搬送を基本とし、沖縄本島－九州間（那覇港－鹿児島港間）は、定期航路を活用。
- 定期航路で沖縄本島－九州間を定期航路とする船舶（候補船）は以下のとおり。

|    | フェリーあけぼの（定期航路）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                 | フェリー波之上（定期航路）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                    | クイーンコーラルクロス（定期航路）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | クイーンコーラルプラス（定期航路）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           |
|----|--------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 船名 |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                                                          |                                                                                                                                                                                                                                                          |
| 船主 | マルエーフェリー株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                                                                   | マルエーフェリー株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                                                                     | マリックスライン株式会社<br>（独）鉄道建設・運輸施設整備支援機構                                                                                                                                                                                                                                                                                                          | マリックスライン株式会社                                                                                                                                                                                                                                                                                                                                |
| 概要 | <p>総トン数 8,083トン<br/>           載貨重量 4,050トン<br/>           全 長 145m<br/>           幅 24m<br/>           搭乗人員 <b>678名</b>（旅客）<br/>           （近海仕様）<br/>           乗組定員 30名</p> <p>ランプウェイあり<br/>           バリアフリー対応（乗下船補助車両配備）<br/>           ペット対応（ケージ又はバスケットは3辺の和が2m以内かつ、60cm幅のペットルーム入口に入る大きさ）<br/>           ※ それ以上は貨物扱い</p> | <p>総トン数 8,072トン<br/>           載貨重量 3,833トン<br/>           全 長 145m<br/>           幅 24m<br/>           搭乗人員 <b>707名</b>（旅客）<br/>           （限定近海仕様）<br/>           乗組定員 31名</p> <p>ランプウェイあり<br/>           バリアフリー対応（乗下船補助車両配備）<br/>           ペット対応（ケージ又はバスケットは3辺の和が2m以内かつ、60cm幅のペットルーム入口に入る大きさ）<br/>           ※ それ以上は貨物扱い</p> | <p>総トン数 7,914トン<br/>           載貨重量 3,966トン<br/>           全 長 144.88m<br/>           幅 24m<br/>           搭乗人員 <b>655名</b>（旅客）<br/>           （限定近海仕様）<br/>           乗組定員 26名</p> <p>ランプウェイあり（制限4.5m）<br/>           バリアフリー対応（乗下船補助車両配備）<br/>           ペット対応（ケージ又はバスケットは3辺の和が2m以内かつ、60cm幅のペットルーム入口に入る大きさ）<br/>           ※ それ以上は貨物扱い</p> | <p>総トン数 5,910トン<br/>           載貨重量 3,538トン<br/>           全 長 143.30m<br/>           幅 21.6m<br/>           搭乗人員 <b>604名</b>（旅客）<br/>           （近海仕様）<br/>           乗組定員 25名</p> <p>ランプウェイあり（制限4.5m）<br/>           バリアフリー対応（乗下船補助車両配備）<br/>           ペット対応（ケージ又はバスケットは3辺の和が2m以内かつ、60cm幅のペットルーム入口に入る大きさ）<br/>           ※ それ以上は貨物扱い</p> |
| 特徴 | 指定公共機関                                                                                                                                                                                                                                                                                                                         | 指定公共機関                                                                                                                                                                                                                                                                                                                           | 指定地方公共機関（鹿児島県）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              | 指定地方公共機関（鹿児島県）                                                                                                                                                                                                                                                                                                                              |



# 船舶の現物確認について

訓練用

- 候補船舶（海上保安庁巡視船、県実習船、自衛隊PFI船）について、現物確認により 要配慮者等の搬送可能性を確認。
- 引き続き候補アセットの更なる確保を追求しつつ、既存の候補船舶毎の特性（車椅子やストレッチャーによる船内移動の可否やエレベーターの有無等）を考慮の上で搬送対象を分類し、候補アセットの最大限の活用を図る。

## （参考）海上保安庁巡視船現物確認(R6.9.26)

※ 船内廊下や船室、船内入口等の構造は、県実習船と同等

後部舷梯



多目的室



船室



## （参考）沖縄県実習船（海邦丸）現物確認(R6.12.27)

船内甲板



洗面所



一度に複数名が利用可能



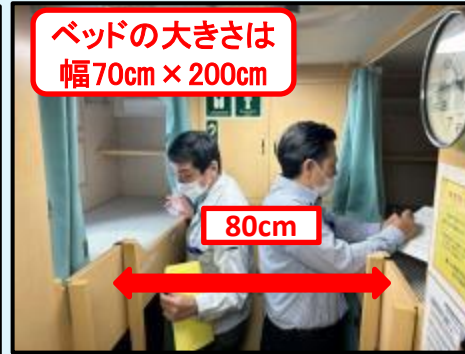
たこ足を防ぐため  
船内には多くの電源を完備

船内廊下



85cm

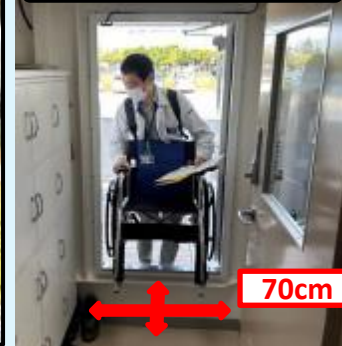
部屋(4人)



ベッドの大きさは  
幅70cm×200cm

80cm

船内入口(足元)



70cm

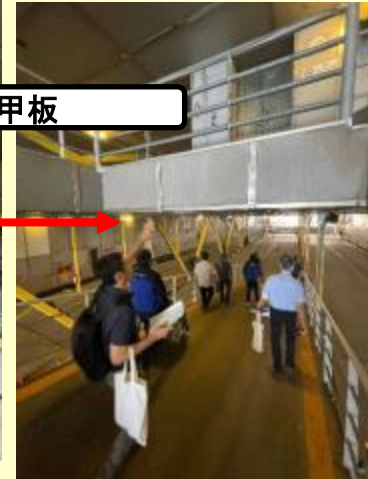
横幅70cm  
水密扉高さ40cm

# 船舶の現物確認について

訓練用

- 候補船舶（海上保安庁巡視船、県実習船、自衛隊PFI船）について、現物確認により 要配慮者等の搬送可能性を確認。
- 引き続き候補アセットの更なる確保を追求しつつ、既存の候補船舶毎の特性（車椅子やストレッチャーによる船内移動の可否やエレベーターの有無等）を考慮の上で搬送対象を分類し、候補アセットの最大限の活用を図る。（前頁同）

（参考）自衛隊PFI船（ナッチャンWorld）現物確認(R6.10.22)



（縦180cm×横60cm）





- 要配慮者を搬送するに当たり、候補船を十分に活用する観点も含め、車両甲板の活用を検討すべきとの意見あり。車両甲板を活用した搬送については、コロナ禍において救急車両による感染者の搬送を行うなど、実際に活用した事例があるところ。
- 国土交通省海事局に確認したところ、下記の回答が示された。
  - ① 災害時等の緊急事態での輸送については、事情を踏まえて個別相談となるため、具体の搬送方法について検討する必要がある。
  - ② なお、救急車両等については、通常時であっても、船長の許可があれば認められるケースはあるものの、車両甲板への立入りを認めたとしても、定員を超える人員を載せることはできない。

## 【航行中の車両甲板立入りを認めた事例】

### <新型コロナウイルス禍における事例>

- ・ 救急車両内待機による感染者搬送（慶良間諸島～沖縄本島）
- ・ 軽症者の自家用車内待機による感染者搬送（多良間島～宮古島）
- ※ 沖縄総合事務局運輸部通達に基づき、船舶事業者の旅客安全規程の改定等の対応を行い、実施。

### <（参考）災害対応訓練等における事例>

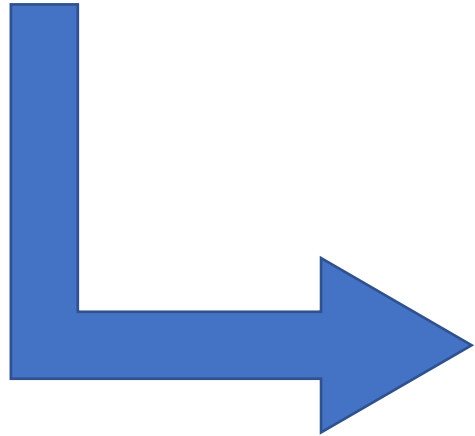
- ・ 室蘭港における民間フェリーの車両甲板を活用し、テントや各医療チームが持参した医療資器材等を展開した患者搬送訓練（R6.10）
- ※ 訓練においては、事前に運輸局に相談の上、載せる資機材は十分な固縛をすること等を条件として実施。

→ 上記の過去事例や回答を踏まえ、今後車両甲板を有する候補アセットにおける車両甲板での搬送について、搬送方法を整理し、国土交通省海事局等と協議していくこととし、車両甲板を活用する場合の課題を整理する。

# 【参考】船舶医療活用検討における車両甲板の活用について

訓練用

- 内閣官房船舶活用医療推進室において、災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備の推進に関して、実際の船舶を用いた実証訓練（R6.10：室蘭）を行うなど、車両甲板上で医療提供を行う方向で検討中。
- 船舶活用医療推進本部第1回会合（R6.7.9）において、国土交通省から以下の発言があった。  
「国土交通省としては、災害時等に備えた取組として、内閣官房と連携し、車両甲板上で医療提供が可能なカーフェリーを運航している民間事業者との協力関係の構築や、港湾施設における耐震強化、迅速な復旧体制の整備を進めている。」
- 上記会合資料内において、「災害時にカーフェリーに医療モジュール・資器材等を搭載する方式を軸に検討」と記載



災害時等における船舶を活用した医療提供体制の整備に係る検討も踏まえて、車両甲板での搬送を検討していく。

車両甲板での搬送のイメージ  
(船舶活用医療訓練画像)

船内における訓練の様子



船内に展開した船舶用エアテント



(R6.10実施室蘭での船舶活用医療訓練)

# 船舶における搬送対象者の整理（一案）

訓練用

○アセット数に限りがあるため、エレベーターの設置の有無や、車椅子・ストレッチャーによる船内移動の可否等に応じ、下記のとおり搬送する要配慮者の範囲を分類しつつ、候補アセットの最大限の活用を図る必要がある。

| 代表的な船名  | 海保巡視船（R6.9実施）<br>県実習船（R6.12実施）                                                                                                                                        | 自衛隊PFI船（ナツチャンWorld）<br>（R6.10実施）                                                                                                                                                                                          | （参考）自衛隊PFI船（はくおう）                                                                                                                                                                                                       |
|---------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
|         |                                                                                      |                                                                                                                                         |                                                                                                                                      |
| 船主      | 沖縄県立高等学校、海上保安庁                                                                                                                                                        | 防衛省                                                                                                                                                                                                                       | 防衛省                                                                                                                                                                                                                     |
| 現物確認結果  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子及びストレッチャーでの船内移動は、通路幅やタラップが狭い、段差や階段が多い等の理由により現状では困難</li> <li>・船内にエレベーターなし</li> <li>・搬送中の医療行為、介護行為は一定程度対応可能（要資格者）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子、ストレッチャーで船内平面移動可能</li> <li>・船内にエレベーターなし</li> <li>・船体が大きいため同伴者も十分に同乗可能</li> <li>・RORO機能があり、救急車等で乗船可能</li> <li>・車両甲板部の活用方法を要検討</li> <li>・搬送中の医療行為、介護行為は一定程度対応可能（要資格者）</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・車椅子、ストレッチャーで船内移動可能</li> <li>・船内にエレベーターあり</li> <li>・船体が大きいため同伴者も十分に同乗可能</li> <li>・RORO機能があり、救急車等で乗船可能</li> <li>・車両甲板部の活用方法を要検討</li> <li>・搬送中の医療行為、介護行為は一定程度対応可能（要資格者）</li> </ul> |
| 要配慮者の範囲 | 旅客区画                                                                                                                                                                  | 妊婦・乳幼児（航空機に搭乗できない方）、在宅酸素患者・在宅人工呼吸器患者（電源がある場合）                                                                                                                                                                             |                                                                                                                                                                                                                         |
|         |                                                                                                                                                                       | 護送・要医療護送の方※1、※2<br>（旅客区画への乗下船が可能であれば搬送可能か？）                                                                                                                                                                               |                                                                                                                                                                                                                         |
|         | 車両甲板                                                                                                                                                                  | 担架で乗下船が困難ではないか？                                                                                                                                                                                                           | 担送者・要医療担送者※1、※3<br>（旅客区画への乗下船が可能であれば搬送可能か？）                                                                                                                                                                             |
|         |                                                                                                                                                                       |                                                                                                                                                                                                                           | （はくおうのエレベーターでの移動は着座姿勢がとれることが必要？）                                                                                                                                                                                        |
| 類似船舶    |                                                                                                                                                                       | 護送・要医療護送の方                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                         |
|         |                                                                                                                                                                       | 担送者・要医療担送者                                                                                                                                                                                                                |                                                                                                                                                                                                                         |
| 類似船舶    |                                                                                                                                                                       | ○かりゆし、ゆいまる、フェリーみかさ<br>※車両甲板での輸送が可能<br>※竹富町内高速船は他にバリアフリー対応船舶あり                                                                                                                                                             | ○ピースウィンズジャパン船舶<br>※岸壁から医療措置室まで担架で乗船可能。<br>（将来的にヘリポートと医療措置室を繋ぐエレベーター設置意向あり）<br>○フェリーよなくに、フェリーたらまⅢ、フェリーはてるま2、ばいかじ                                                                                                         |

※1 表の左から右へ行くほど搬送が可能として整理

※2 社会福祉施設入所者・医療機関入院患者、在宅要配慮者（障害者（身体）（知的）（精神）、高齢者・要介護者）のうち、車椅子移動を要する者

※3 上記の方のうち、担架やストレッチャーによる移動を要する者



# 船舶が使用する岸壁の抽出及び離着岸可否の整理

訓練用

○候補アセットとなっている船舶の接岸可能性がある岸壁を抽出し、各アセットが接岸可能か検討を実施。

- ① 岸壁の延長・水深を基に、接岸可能性のある岸壁候補を抽出した。
- ② 上記候補岸壁に各アセットが接岸可能か船舶所有者へ確認を行った。

| 船舶会社・所属    |          | 巻船・封船フェリー                | ピースウィンズジャパン     | 沖縄県立高等学校 | 防衛省         |      | 海上保安庁巡視船 |         |
|------------|----------|--------------------------|-----------------|----------|-------------|------|----------|---------|
| 船名         |          | みかさ                      | POWER OF CHANGE | 海邦丸      | ナツチャン World | はくおう | PL型巡視船   | PLH型巡視船 |
| (南城市) 市役所  | ① 国際埠頭   | 延長 [420m]<br>水深 [-10.5m] | ○               | ○        | ○           | ◇ ※1 | ○        | ○       |
|            | ② 岸壁     | 延長 [130m]<br>水深 [-7.5m]  | ○               | ○        | ○           | ×    | ○        | ×       |
|            | ③ モーター   | 延長 [185m]<br>水深 [-9.0m]  | ○               | ○        | ○           | ◇ ※2 | ○        | △(実績なし) |
|            | ④ クルーズ   | 延長 [420m]<br>水深 [-10.5m] | ○               | ○        | ○           | ◇ ※1 | ○        | ○       |
|            | ⑤ 強水岸壁 a | 延長 [190m]<br>水深 [-10m]   | ○               | ○        | ○           | ×    | ○        | ○       |
|            | ⑥ 強水岸壁 b | 延長 [100m]<br>水深 [-7.5m]  | ○               | ○        | ×           | ×    | ◇ ※2     | ×       |
| (宮古島市) 市役所 | ⑦ 第2埠頭   | 延長 [130m]<br>水深 [-7.5m]  | ○               | ○        | △(要視察)      | ×    | ○        | ×       |



※1 物理的には延長及び水深的に接岸は可能だが、ランプゲートを降下した場合、タイルを破損する可能性がある。  
 ※2 隣の岸壁にはみ出しての接岸であれば可能。

※今後の検討内容に応じて、候補岸壁の追加や変更が行われることもある。  
 ※候補岸壁（3つ）は、優先順位を決めているものではない。

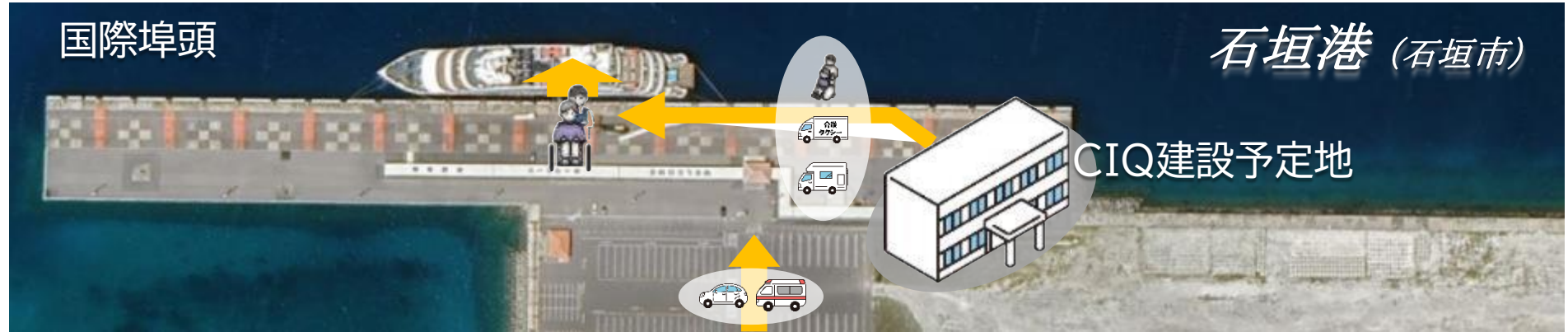


# 船舶に乗船するまでの避難誘導パターン検討の方向性

訓練用

- 候補船舶の現状を確認し、要配慮者の概数把握が一定程度なされたことから、今後は、下図（イメージ図）を基に、関係者の意見も踏まえながら、船舶避難における避難誘導パターンの一案を作成していく。

避難誘導イメージ



避難誘導イメージ



- 市町村避難実施要領記載案（ペットの扱い）

市町村避難実施要領記載案（家畜の扱い）

41

## 2 要配慮者等の避難に係る調整

## 1 前回（第X+1回）会議までの調整状況

### （1）市町村ごとの対象人数規模の把握（行政支援の需要の把握）

ア 人口規模を勘案して可能な3町村において、行政支援が必要な要配慮者の規模を把握

### （2）要配慮者の避難手段・経路の全体イメージの整理

### （3）医療機関、社会福祉施設における避難の流れ、在宅酸素患者等の避難要領一案の案出

## 2 前回（第X+1回）会議以降の調整内容（今回調整事項）

### （1）市町村ごとの対象人数規模の把握（行政支援の需要の把握）

ア 人口規模の大きい市も含め、行政支援が必要な要配慮者の規模を概数把握

### （2）医療関係者の意見等を踏まえた搬送区分別の搬送手段及び付添体制の整理

### （3）避難者の負担軽減等の観点から、航空機の更なる活用方策の検討

### （4）域外搬送手段の最終判断を行う「救護所」や搭乗までの医療的ケアのための「SCU」 の設置の考え方等を整理

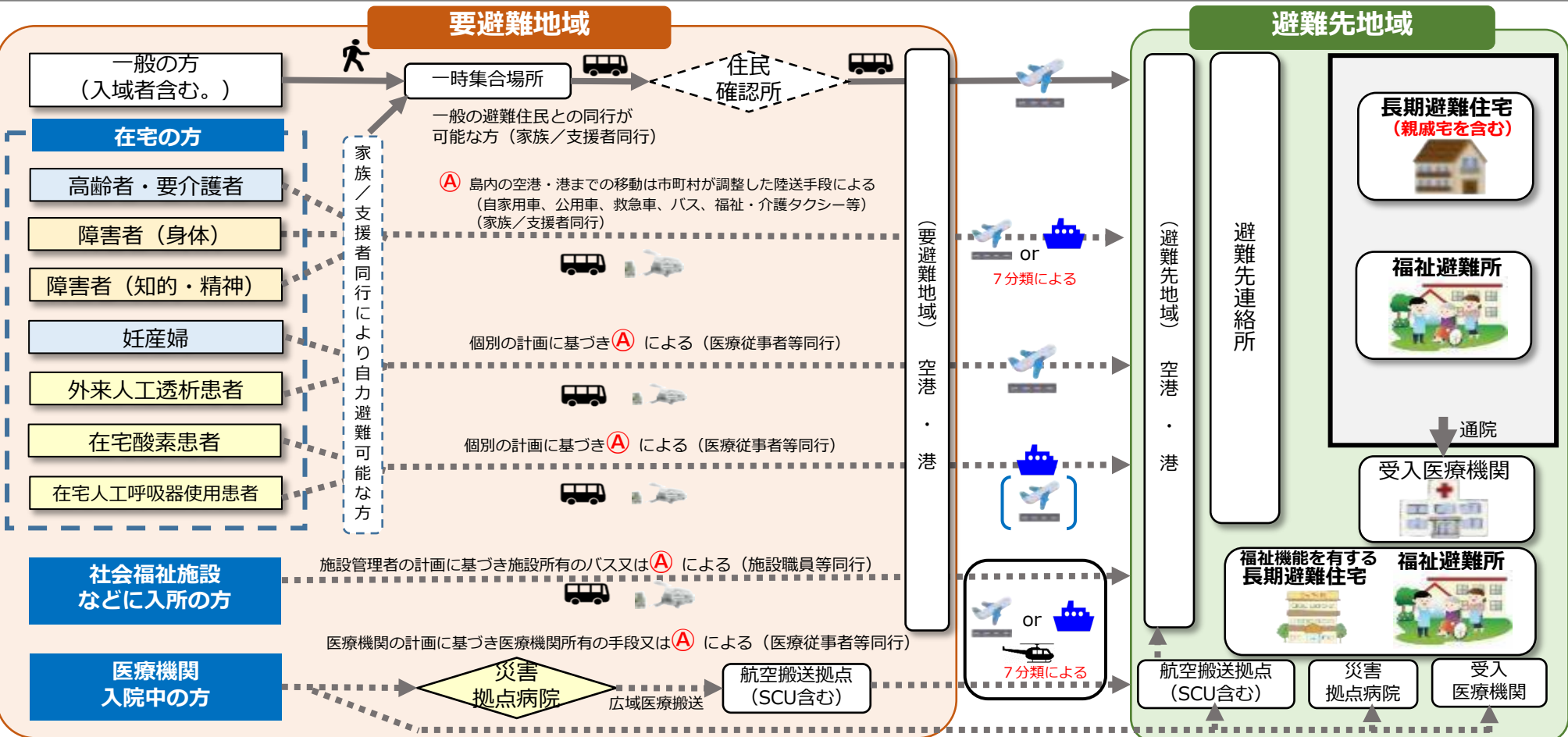
### （5）市町村において、医療機関や社会福祉施設、在宅の方の避難実施要領をモデル的に検討



# 要配慮者避難手段・経路の全体像

訓練用

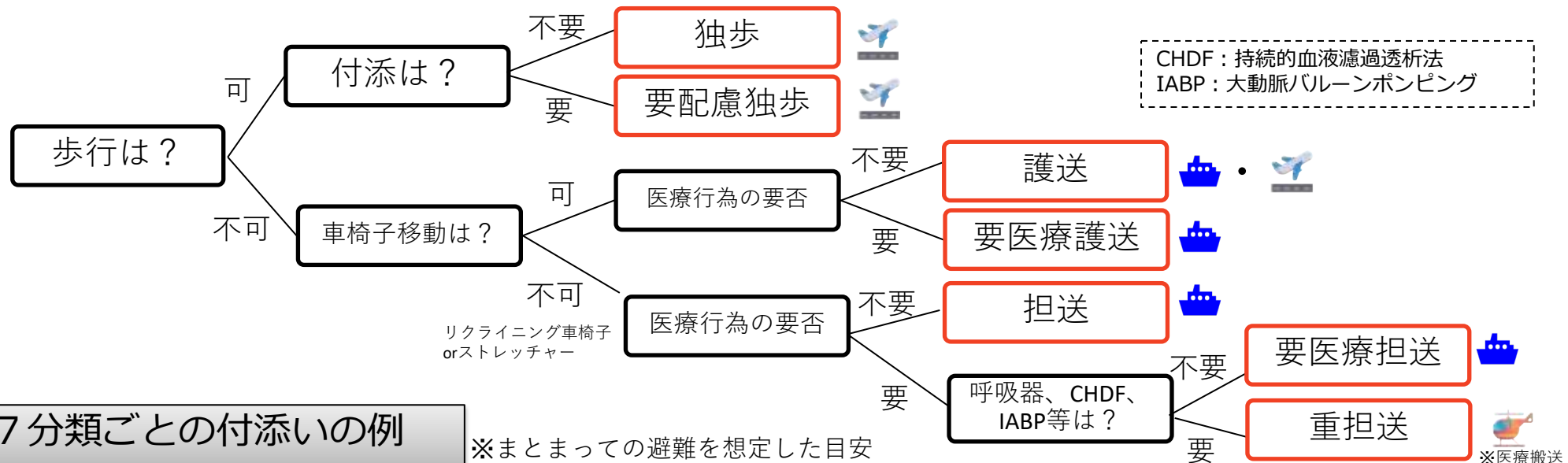
- 要配慮者の避難手段・経路の全体像は下記の通り検討中。
  - ①在宅要配慮者のうち、一般の方と同様に避難が可能な方は、一般の方と同様に航空機による避難。
  - ②「高齢者・要介護者」、「障がい者」については、7分類の搬送区分（次頁で説明）等に応じ、航空機または船舶による避難。
  - ③「妊産婦（出産直前期は要検討）」、「外来人工透析患者」については、移動後の受入体制を調整した上で、航空機による避難。
  - ④「在宅酸素患者」、「在宅人工呼吸器使用患者」については、移動中の電源等を要するため、基本的に船舶による避難。
- 病院・社会福祉施設については、7分類の搬送区分等に応じ、航空機（医療用ヘリを含む）または船舶による避難。



# 要配慮者の分類（搬送区分別）

訓練用

- 在宅の方、入院患者及び社会福祉施設（高齢者、障がい者）の入所者について、搬送手段や行政支援（付添等）を検討するため、下図のとおり7つに分類（赤枠参照）し集計
- 各搬送区分ごとに、避難時に使用する輸送アセット（島内移動含む）、付添いに必要となる職種及び人数を検討
- 搬送時に医療行為を要する場合、医師、看護師などの付添いや医療資機材の搭載を要することに留意



## 7分類ごとの付添いの例

※まとまった避難を想定した目安

### 【独歩】

要配慮者10名に病院・施設スタッフ1名

### 【要配慮独歩】

要配慮者5名に病院・施設スタッフ1～2名

### 【護送】

要配慮者1名に病院・施設スタッフまたは家族1名

### 【要医療護送】※点滴、酸素、吸引等

要配慮者1名に看護師1名の付添、搬送毎に医師1名

### 【担送】

要配慮者1名に病院（施設）スタッフ1名

### 【要医療担送】※輸液、酸素、吸引等

要配慮者1名に看護師1名の付添、搬送毎に医師1名

### 【重担送】※高度医療必要

要配慮者1名に医師、看護師1名ずつ（場合によりMEも）  
（ME＝臨床工学技士）

# 要配慮者の概数把握状況（先島5市町村合計）

訓練用

- 在宅要配慮者については、避難行動要支援者等の情報を基に、行政の支援が必要な者の概数を各市町村において把握した。社会福祉施設入所者は各市町村において、入院患者は県医療政策課において、それぞれ施設及び医療機関へ調査を実施する等して把握した。令和6年度において、すべての市町村において概ね集計を終えたところ。
- 先島5市町村における行政の支援を要する要配慮者の概数は、合計7,663人。  
（うち①在宅：5,413人、②社会福祉施設入所者：1,374人、③入院患者：876人）

| 区分                 |           | 行政の支援を要する要配慮者 |       |           |    |       |     |       |     |      |
|--------------------|-----------|---------------|-------|-----------|----|-------|-----|-------|-----|------|
|                    |           | 総 数           | 独歩    | 要配慮<br>独歩 | 護送 | 要医療護送 | 担送  | 要医療担送 | 重担送 |      |
|                    |           |               |       |           |    |       |     |       |     | 搬送手段 |
| 在宅要<br>配<br>慮<br>者 | 高齢者・要介護者  | 1,727         | 188   | 210       | 0  | 908   | 133 | 172   | 108 | 8    |
|                    | 身体障害者     | 561           | 111   | 234       | 0  | 139   | 27  | 28    | 10  | 12   |
|                    | 知的障害者     | 237           | 41    | 143       | 0  | 40    | 2   | 5     | 1   | 5    |
|                    | 精神障害者     | 1,160         | 923   | 192       | 0  | 6     | 37  | 0     | 2   | 0    |
|                    | 外来人工透析    | 319           | 319   |           |    |       |     |       |     |      |
|                    | 在宅酸素患者    | 168           |       |           |    | 168   |     |       |     |      |
|                    | 在宅人工呼吸器患者 | 38            |       |           |    | 38    |     |       |     |      |
|                    | 妊産婦       | 1,203         | 1,084 |           |    |       |     |       |     | 119  |
|                    | 小計（A）     | 5,413         | 3,445 |           |    | 1,824 |     |       |     | 144  |
| 福<br>祉<br>施<br>設   | 高齢者施設入所者  | 1,061         | 90    | 62        | 0  | 665   | 15  | 174   | 5   | 50   |
|                    | 障害者施設入所者  | 313           | 168   | 0         | 0  | 120   | 0   | 25    | 0   | 0    |
|                    | 小計（B）     | 1,374         | 320   |           |    | 1,004 |     |       |     | 50   |
| 病<br>院             | 病院入院患者    | 876           | 96    | 38        | 0  | 397   | 33  | 199   | 87  | 26   |
|                    | 小計（C）     | 876           | 134   |           |    | 716   |     |       |     | 26   |
| 合計（A+B+C）          |           | 7,663         | 3,899 |           |    | 3,544 |     |       |     | 220  |

「外来人工透析」、「在宅酸素患者」、「在宅人工呼吸器患者」、「妊産婦」については7分類での分けをしていないため一般旅客（航空機）か船舶での分けとしている。また、この数値については、要配慮者のグループ間において重複する場合がある。

# 要配慮者の概数把握状況（宮古島市）

訓練用

○ 宮古島市における行政の支援を要する要配慮者の概数は、4,582人。  
（うち①在宅：3,392人、②社会福祉施設入所者：659人、③入院患者：531人）

| 区分                     |           | 行政の支援を要する要配慮者 |       |           |    |           |    |           |     |      |
|------------------------|-----------|---------------|-------|-----------|----|-----------|----|-----------|-----|------|
|                        |           | 総 数           | 独歩    | 要配慮<br>独歩 | 護送 | 要医療<br>護送 | 担送 | 要医療<br>担送 | 重担送 |      |
|                        |           |               |       |           |    |           |    |           |     | 搬送手段 |
| 在宅<br>要<br>配<br>慮<br>者 | 高齢者・要介護者  | 1,013         | 0     | 0         | 0  | 746       | 86 | 109       | 64  | 8    |
|                        | 身体障害者     | 387           | 90    | 151       | 0  | 94        | 6  | 27        | 8   | 11   |
|                        | 知的障害者     | 123           | 7     | 65        | 0  | 38        | 2  | 5         | 1   | 5    |
|                        | 精神障害者     | 997           | 840   | 118       | 0  | 0         | 37 | 0         | 2   | 0    |
|                        | 外来人工透析    | 140           | 140   |           |    |           |    |           |     |      |
|                        | 在宅酸素患者    | 115           |       |           |    | 115       |    |           |     |      |
|                        | 在宅人工呼吸器患者 | 24            |       |           |    | 24        |    |           |     |      |
|                        | 妊産婦       | 593           | 534   |           |    |           |    |           |     | 59   |
|                        | 小計（A）     | 3,392         | 1,945 |           |    | 1,364     |    |           |     | 83   |
| 福祉施設                   | 高齢者施設入所者  | 507           | 31    | 62        | 0  | 358       | 15 | 22        | 5   | 14   |
|                        | 障害者施設入所者  | 152           | 87    | 0         | 0  | 55        | 0  | 10        | 0   | 0    |
|                        | 小計（B）     | 659           | 180   |           |    | 465       |    |           |     | 14   |
| 病院                     | 病院入院患者    | 531           | 61    | 10        | 0  | 276       | 0  | 125       | 42  | 17   |
|                        | 小計（C）     | 531           | 71    |           |    | 443       |    |           |     | 17   |
| 合計（A+B+C）              |           | 4,582         | 2,196 |           |    | 2,272     |    |           |     | 114  |

「外来人工透析」、「在宅酸素患者」、「在宅人工呼吸器患者」、「妊産婦」については7分類での分けをしていないため一般旅客(航空機)か船舶での分けとしている。また、この数値については、要配慮者のグループ間において重複する場合がある。



# 要配慮者の概数把握状況（多良間村）

訓練用

- 多良間村における行政の支援を要する要配慮者の概数は、25人。  
（うち①在宅：25人、②社会福祉施設入所者：0人、③入院患者：0人）

| 区分                     |           | 行政の支援を要する要配慮者 |       |           |    |    |           |    |           |     |   |
|------------------------|-----------|---------------|-------|-----------|----|----|-----------|----|-----------|-----|---|
|                        |           | 総 数           | 独歩    | 要配慮<br>独歩 | 護送 |    | 要医療<br>護送 | 担送 | 要医療<br>担送 | 重担送 |   |
|                        |           |               |       |           |    |    |           |    |           |     |   |
|                        |           | 搬送手段          | 一般航空機 |           |    | 船舶 |           |    | ヘリ        |     |   |
| 在宅<br>要<br>配<br>慮<br>者 | 高齢者・要介護者  | 15            | 1     | 5         | 0  | 6  | 0         | 1  | 2         | 0   |   |
|                        | 身体障害者     | 2             | 1     | 0         | 0  | 1  | 0         | 0  | 0         | 0   |   |
|                        | 知的障害者     | 1             | 0     | 0         | 0  | 1  | 0         | 0  | 0         | 0   |   |
|                        | 精神障害者     | 1             | 1     | 0         | 0  | 0  | 0         | 0  | 0         | 0   |   |
|                        | 外来人工透析    | 2             | 2     |           |    |    |           |    |           |     |   |
|                        | 在宅酸素患者    | 3             |       |           |    | 3  |           |    |           |     |   |
|                        | 在宅人工呼吸器患者 | 0             |       |           |    | 0  |           |    |           |     |   |
|                        | 妊産婦       | 1             | 1     |           |    |    |           |    |           |     |   |
|                        | 小計（A）     | 25            |       |           |    | 11 |           |    |           | 14  | 0 |
| 福祉<br>施設               | 高齢者施設入所者  | 0             | 0     | 0         | 0  | 0  | 0         | 0  | 0         | 0   |   |
|                        | 障害者施設入所者  | 0             |       |           |    |    |           |    |           |     |   |
|                        | 小計（B）     | 0             |       |           |    | 0  |           |    |           | 0   | 0 |
| 病院                     | 病院入院患者    | 0             |       |           |    |    |           |    |           |     |   |
|                        | 小計（C）     | 0             |       |           |    | 0  |           |    |           | 0   | 0 |
| 合計（A+B+C）              |           | 25            |       |           |    | 11 |           |    |           | 14  | 0 |

「外来人工透析」、「在宅酸素患者」、「在宅人工呼吸器患者」、「妊産婦」については7分類での分けをしていないため一般旅客(航空機)か船舶での分けとしている。また、この数値については、要配慮者のグループ間において重複する場合がある。

# 要配慮者の概数把握状況（石垣市）

訓練用

- 石垣市における行政の支援を要する要配慮者の概数は、3,012人。  
（うち①在宅：1,971人、②社会福祉施設入所者：696人、③入院患者：345人）

| 区分        |           | 行政の支援を要する要配慮者 |       |           |    |           |    |           |     |      |
|-----------|-----------|---------------|-------|-----------|----|-----------|----|-----------|-----|------|
|           |           | 総 数           | 独歩    | 要配慮<br>独歩 | 護送 | 要医療<br>護送 | 担送 | 要医療<br>担送 | 重担送 |      |
|           |           |               |       |           |    |           |    |           |     | 搬送手段 |
| 在宅要配慮者    | 高齢者・要介護者  | 690           | 187   | 205       | 0  | 151       | 45 | 60        | 42  | 0    |
|           | 身体障害者     | 168           | 20    | 83        | 0  | 43        | 21 | 0         | 0   | 1    |
|           | 知的障害者     | 113           | 34    | 78        | 0  | 1         | 0  | 0         | 0   | 0    |
|           | 精神障害者     | 162           | 82    | 74        | 0  | 6         | 0  | 0         | 0   | 0    |
|           | 外来人工透析    | 175           | 175   |           |    |           |    |           |     |      |
|           | 在宅酸素患者    | 44            |       |           |    | 44        |    |           |     |      |
|           | 在宅人工呼吸器患者 | 14            |       |           |    | 14        |    |           |     |      |
|           | 妊産婦       | 605           | 545   |           |    |           |    |           |     | 60   |
|           | 小計（A）     | 1,971         | 1,483 |           |    | 427       |    |           |     | 61   |
| 福祉施設      | 高齢者施設入所者  | 535           | 59    | 0         | 0  | 288       | 0  | 152       | 0   | 36   |
|           | 障害者施設入所者  | 161           | 81    | 0         | 0  | 65        | 0  | 15        | 0   | 0    |
|           | 小計（B）     | 696           | 140   |           |    | 520       |    |           |     | 36   |
| 病院        | 病院入院患者    | 345           | 35    | 28        | 0  | 121       | 33 | 74        | 45  | 9    |
|           | 小計（C）     | 345           | 63    |           |    | 273       |    |           |     | 9    |
| 合計（A+B+C） |           | 3,012         | 1,686 |           |    | 1,220     |    |           |     | 106  |

「外来人工透析」、「在宅酸素患者」、「在宅人工呼吸器患者」、「妊産婦」については7分類での分けをしていないため一般旅客(航空機)か船舶での分けとしている。また、この数値については、要配慮者のグループ間において重複する場合がある。

# 要配慮者の概数把握状況（竹富町）

訓練用

- 竹富町における行政の支援を要する要配慮者の概数は、33人。  
（うち①在宅：14人、②社会福祉施設入所者：19人、③入院患者：0人）

| 区分                     |           | 行政の支援を要する要配慮者 |    |           |    |           |    |           |     |      |
|------------------------|-----------|---------------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|-----|------|
|                        |           | 総 数           | 独歩 | 要配慮<br>独歩 | 護送 | 要医療<br>護送 | 担送 | 要医療<br>担送 | 重担送 |      |
|                        |           |               |    |           |    |           |    |           |     | 搬送手段 |
| 在宅<br>要<br>配<br>慮<br>者 | 高齢者・要介護者  | 2             | 0  | 0         | 0  | 0         | 1  | 1         | 0   | 0    |
|                        | 身体障害者     | 1             | 0  | 0         | 0  | 0         | 0  | 0         | 1   | 0    |
|                        | 知的障害者     | 0             | 0  | 0         | 0  | 0         | 0  | 0         | 0   | 0    |
|                        | 精神障害者     | 0             | 0  | 0         | 0  | 0         | 0  | 0         | 0   | 0    |
|                        | 外来人工透析    | 2             | 2  |           |    |           |    |           |     |      |
|                        | 在宅酸素患者    | 5             |    |           | 5  |           |    |           |     |      |
|                        | 在宅人工呼吸器患者 | 0             |    |           | 0  |           |    |           |     |      |
|                        | 妊産婦       | 4             | 4  |           |    |           |    |           | 0   |      |
|                        | 小計（A）     | 14            |    |           | 6  |           |    | 8         | 0   |      |
| 福祉<br>施<br>設           | 高齢者施設入所者  | 19            | 0  | 0         | 0  | 19        | 0  | 0         | 0   | 0    |
|                        | 障害者施設入所者  | 0             |    |           |    |           |    |           |     |      |
|                        | 小計（B）     | 19            |    |           | 0  |           |    | 19        | 0   |      |
| 病院                     | 病院入院患者    | 0             |    |           |    |           |    |           |     |      |
|                        | 小計（C）     | 0             |    |           | 0  |           |    | 0         | 0   |      |
| 合計（A+B+C）              |           | 33            |    |           | 6  |           |    | 27        | 0   |      |

「外来人工透析」、「在宅酸素患者」、「在宅人工呼吸器患者」、「妊産婦」については7分類での分けをしていないため一般旅客(航空機)か船舶での分けとしている。また、この数値については、要配慮者のグループ間において重複する場合がある。

# 要配慮者の概数把握状況（与那国町）

訓練用

- 与那国町における行政の支援を要する要配慮者の概数は、11人。  
（うち①在宅：11人、②社会福祉施設入所者：0人、③入院患者：0人）

| 区分        |           | 行政の支援を要する要配慮者 |    |           |    |           |    |           |     |      |
|-----------|-----------|---------------|----|-----------|----|-----------|----|-----------|-----|------|
|           |           | 総 数           | 独歩 | 要配慮<br>独歩 | 護送 | 要医療<br>護送 | 担送 | 要医療<br>担送 | 重担送 |      |
|           |           |               |    |           |    |           |    |           |     | 搬送手段 |
| 在宅要配慮者    | 高齢者・要介護者  | 7             | 0  | 0         | 0  | 5         | 1  | 1         | 0   | 0    |
|           | 身体障害者     | 3             | 0  | 0         | 0  | 1         | 0  | 1         | 1   | 0    |
|           | 知的障害者     | 0             | 0  | 0         | 0  | 0         | 0  | 0         | 0   | 0    |
|           | 精神障害者     | 0             | 0  | 0         | 0  | 0         | 0  | 0         | 0   | 0    |
|           | 外来人工透析    | 0             | 0  |           |    |           |    |           |     |      |
|           | 在宅酸素患者    | 1             |    |           |    | 1         |    |           |     |      |
|           | 在宅人工呼吸器患者 | 0             |    |           |    | 0         |    |           |     |      |
|           | 妊産婦       | 0             | 0  |           |    |           |    |           |     | 0    |
|           | 小計（A）     | 11            | 0  |           |    |           |    |           | 11  | 0    |
| 福祉施設      | 高齢者施設入所者  | 0             | 0  | 0         | 0  | 0         | 0  | 0         | 0   | 0    |
|           | 障害者施設入所者  | 0             |    |           |    |           |    |           |     |      |
|           | 小計（B）     | 0             | 0  |           |    |           |    |           | 0   | 0    |
| 病院        | 病院入院患者    | 0             | 0  | 0         | 0  | 0         | 0  | 0         | 0   | 0    |
|           | 小計（C）     | 0             | 0  |           |    |           |    |           | 0   | 0    |
| 合計（A+B+C） |           | 11            | 0  |           |    |           |    |           | 11  | 0    |

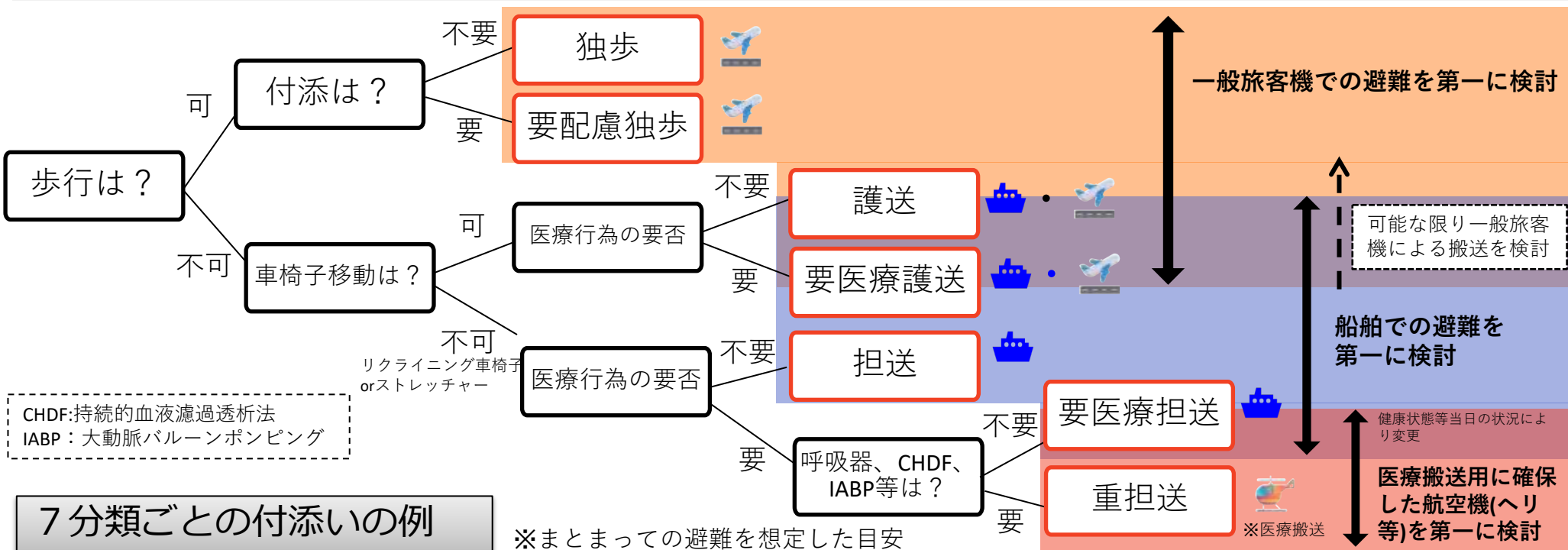
「外来人工透析」、「在宅酸素患者」、「在宅人工呼吸器患者」、「妊産婦」については7分類での分けをしていないため一般旅客(航空機)か船舶での分けとしている。また、この数値については、要配慮者のグループ間において重複する場合がある。



# 搬送区分に応じた要配慮者の避難手段の検討について

訓練用

- 要配慮者の避難については、船舶上での医療処置の困難性及び船舶での長時間搬送による要配慮者の負担について懸念する意見が強い。
- 上記を踏まえ、可能な限り航空機を活用する一案を整理。これまでの航空輸送力の検討状況等を勘案すれば、標準搭乗者数、可能な医療処置、スポット計画との関係など課題は多いが、関係者と鋭意協議中。



- 厚生労働省や医療関係者からの意見を踏まえ、避難時における傷病者の域外搬送手段の最終判断を行うポイントとして「救護所」の機能をJHTCまたは医療機関に置き、その後、航空機・船舶に搭乗するまでの医療的ケアを行うポイントとして「SCU」の機能を空港等に置く一案を作成した。

## 救護所機能

- 災害時に、市町村又は県等が医療救護班の協力を得て被災地の近傍の避難所、体育館等既設の建物又はテントなどの施設に設置し、傷病者のトリアージ、応急処置、後方医療施設への搬送の要否の決定等を行うもの。  
(参照：沖縄県災害医療マニュアル（平成31年3月29日改正）「医療救護所」)
- 本訓練においては、**主な役割として、要配慮者避難の域外搬送手段の最終判断を行う**ことを想定。  
また、**必要に応じ、体調が悪化した方への応急処置も行う。**
- 設置場所（案）としては、以下のパターン等が考えられる。

| 設置場所（案）                                                                                               | 想定されるメリット                                                                                                        | 想定されるデメリット                                                                                          | 想定される課題                                                                                                    |
|-------------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-----------------------------------------------------------------------------------------------------|------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| <b>① JHTC</b>       | <ul style="list-style-type: none"> <li>・早い段階で在宅要配慮者の搬送手段振分けの変更が可能。</li> </ul>                                    | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療資材の移動及び搬入が必要</li> <li>・JHTCでの登録処理時間が延長する可能性あり。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態に配慮した環境が用意できるか。（設置場所）</li> </ul>                               |
| <b>② 医療機関（併設）</b>  | <ul style="list-style-type: none"> <li>・設置する医療機関との連携充実が期待できる。</li> <li>・設置する医療機関から人員及び医療資機材の融通が期待できる。</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>・医療機関がひっ迫するおそれあり。</li> </ul>                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>・健康状態に配慮した環境が用意できるか。（設置場所）</li> <li>・在宅要配慮者の避難ルートの再検討が必要</li> </ul> |

- 厚生労働省や医療関係者からの意見を踏まえ、避難時における傷病者の域外搬送手段の最終判断を行うポイントとして「救護所」の機能をJHTCまたは医療機関に置き、その後、航空機・船舶に搭乗するまでの医療的ケアを行うポイントとして「SCU」の機能を空港等に置く一案を作成した。（前頁同）

## SCU機能

※SCU：ステージングケアユニット、広域医療搬送拠点臨時医療施設

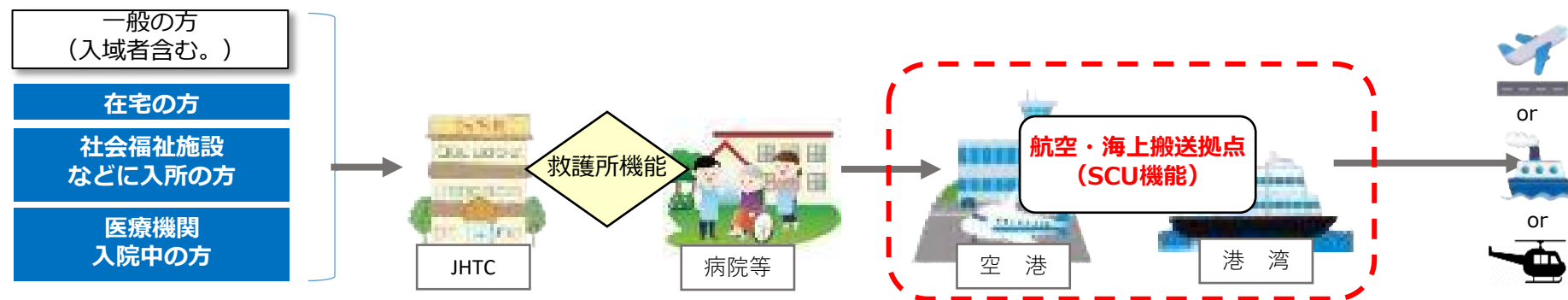
- 「SCU」とは、航空機での搬送に際して患者の症状の安定化を図り、搬送を実施するため、被災地及び被災地外の航空搬送拠点に、広域医療搬送や地域医療搬送に際して都道府県により設置されるもの。（参照：日本DMAT活動要領）
- **各搬送拠点（空港、港湾、ヘリポート等）から航空機又は船舶へ搭乗するまでの間、医療処置を継続して行う必要がある方への対処や、症状増悪等の体調が急変した避難者への応急処置を行う**ことを想定。

→医師、看護師を一定数配置する必要がある。また、急性期における医療処置が可能な医師・看護師の配置が望ましい。

<参考>

広域医療搬送…国が各機関協力の下、自衛隊機等の航空機を用いて対象患者を被災地内の航空搬送拠点から被災地外の航空搬送拠点まで航空搬送する医療搬送をいう。

地域医療搬送…被災地内外を問わず、都道府県、市町村及び病院が、各防災関係機関の協力を得て、ヘリコプター、救急車等により患者を搬送する医療搬送（県境を越えるもの含む含む）であって、広域医療搬送以外のものをいう。



# 要配慮者避難モデル入所施設における避難実施要領の検討

訓練用

- 市町村において、要配慮者の域外への避難と並行して、モデル検討施設の入所（入院）者の避難手段について、以下の項目等について検討し、モデル施設避難要領（案）を作成。

- ①施設における避難の全般方針
- ②入所者の状態、設備等の現状把握
- ③施設職員体制、関係機関との連携体制確認
- ④避難時に必要となる応援人員（付添い等）の検討
- ⑤施設内外における避難動線確認、搬送時における資機材等の確認
- ⑥島外避難計画（タイムスケジュール）等の検討

## 【モデル施設】

宮古島市：青潮園（指定障害者支援施設）  
 石垣市：県立八重山病院（医療機関）  
 竹富町：南風見園（介護老人福祉施設）  
 与那国町：月桃の里（介護老人福祉施設）※R6.11月閉所  
 ※多良間村については該当施設なし

- 上記のほか、モデル施設や各市町村の状況に応じ適宜検討項目を追加。  
 （例：二次離島における避難の流れ、住民避難登録のポイント、空港や港湾内での動線等）

## 要配慮者：社会福祉施設入所者の避難 ～施設内避難マップ（避難の動線）～ 訓練用



施設内における  
避難動線の整理

## 要配慮者：社会福祉施設入所者の避難 ～施設職員の体制～ 訓練用

### 施設職員の体制

- 入所者避難にかかる施設職員の体制について、以下のとおり役割を分担する。
- 入所者の避難の進捗に応じ、体制を縮小する。
- ※入所者との同行避難も状況を見て検討。

| 班名    | 担当者                       | 主な役割                                                              |
|-------|---------------------------|-------------------------------------------------------------------|
| 統括責任者 | 担当：施設長                    | 総括責任<br>（方針決定など各種対策の総指揮ほか全般）                                      |
| 情報連絡班 | リーダー：相談員<br>班員：ケアマネジャー    | ・施設職員への連絡<br>・関係機関との連絡及び調整<br>・搬送手段、付添人の応援、受入れ先の調整<br>・避難状況のとりまとめ |
| 避難誘導班 | リーダー：介護主任<br>班員：介護職員、看護職員 | ・入所者への状況説明<br>・入所者一覧の作成<br>・入所者の避難誘導<br>・入所者の引渡し（受入れ施設や家族等）       |
| 広報班   | リーダー：事務主任<br>班員：ケアマネジャー   | ・マスコミ対応（必要あれば）<br>・広報対応（情報発信、県、市町村への各種報告）<br>・入所者家族等への連絡          |

職員体制の整理

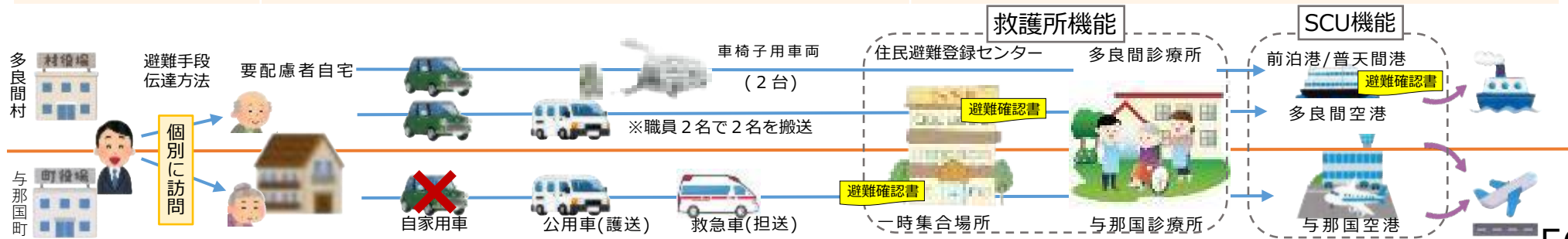


# 在宅要配慮者の避難に係る検討の概要

訓練用

- 与那国町及び多良間村において、在宅要配慮者の避難に係る事項について先行して整理
- 医療機関・社会福祉施設からの避難と異なる点として、自宅からの避難手段の伝達方法や移動（搬送）手段等がポイントとなるため、下表の項目について検討

| 検討項目               | 多良間村の検討結果                                                                                                                                                                           | 与那国町の検討結果                                                                                                      |
|--------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|----------------------------------------------------------------------------------------------------------------|
| 避難手段の伝達方法          | <ul style="list-style-type: none"> <li>船舶避難者：個別に訪問し本人・家族へ説明を行う<br/>該当者6名の登録は出港ターミナルにて実施</li> <li>航空機避難者：一般住民と同様とする</li> </ul>                                                       | <ul style="list-style-type: none"> <li>個別に訪問し本人・家族へ説明を行う（該当者10名）</li> <li>一般住民と同様に航空機での避難とする</li> </ul>        |
| 自家用車の使用可否          | <ul style="list-style-type: none"> <li>船舶避難者：港まで自家用車の使用を認める（駐車可）</li> <li>航空機避難者：家族又は役場職員の運転で登録センター付近で降車を認める（自家用車は自宅へ戻る）</li> </ul>                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>役場職員の運転する公用車で避難し、自家用車は使用しない（※公用車＝救急車、社会福祉協議会及び役場車両）</li> </ul>          |
| ピックアップ、搬送等のための車両確保 | <ul style="list-style-type: none"> <li>船舶避難者：車イス利用者は社会福祉協議会の車イス用車両（2台）を利用</li> <li>航空機避難者：役場公用車両にて対応</li> </ul>                                                                     | <ul style="list-style-type: none"> <li>担送の方：救急車（役場車両）により避難</li> <li>護送の方：社会福祉協議会及び役場車両を利用</li> </ul>           |
| ピックアップ要員（市町村消防の参加） | <ul style="list-style-type: none"> <li>消防団員との話し合いは未実施</li> <li>ピックアップ用車両は乗用車を想定。1台あたり役場職員2名（運転手、介助者）、後部座席に避難者2名を想定</li> <li>観光振興課、教育委員会、土木建設課、住民福祉課<br/>4台×2人＝8人×2回転＝16名</li> </ul> | <ul style="list-style-type: none"> <li>避難者の対応に消防団は対応しない</li> <li>長寿福祉課の要員で対応可能（※1便に最大2名の要配慮者の搭乗を想定）</li> </ul> |
| 救護所、SCU機能の設置場所     | <ul style="list-style-type: none"> <li>救護所：沖縄県立宮古病院多良間診療所を想定</li> <li>SCU：前泊港／普天間港、多良間空港</li> </ul>                                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>救護所：与那国診療所を想定</li> <li>SCU：与那国空港</li> </ul>                             |
| 避難確認書の交付方法         | <ul style="list-style-type: none"> <li>船舶避難者：予め確認書を用意し乗船時に交付（手渡し）</li> <li>航空機避難者：一般避難者同様、住民避難登録センターにて交付</li> </ul>                                                                 | <ul style="list-style-type: none"> <li>一般避難者同様一時集合場所にて交付</li> </ul>                                            |

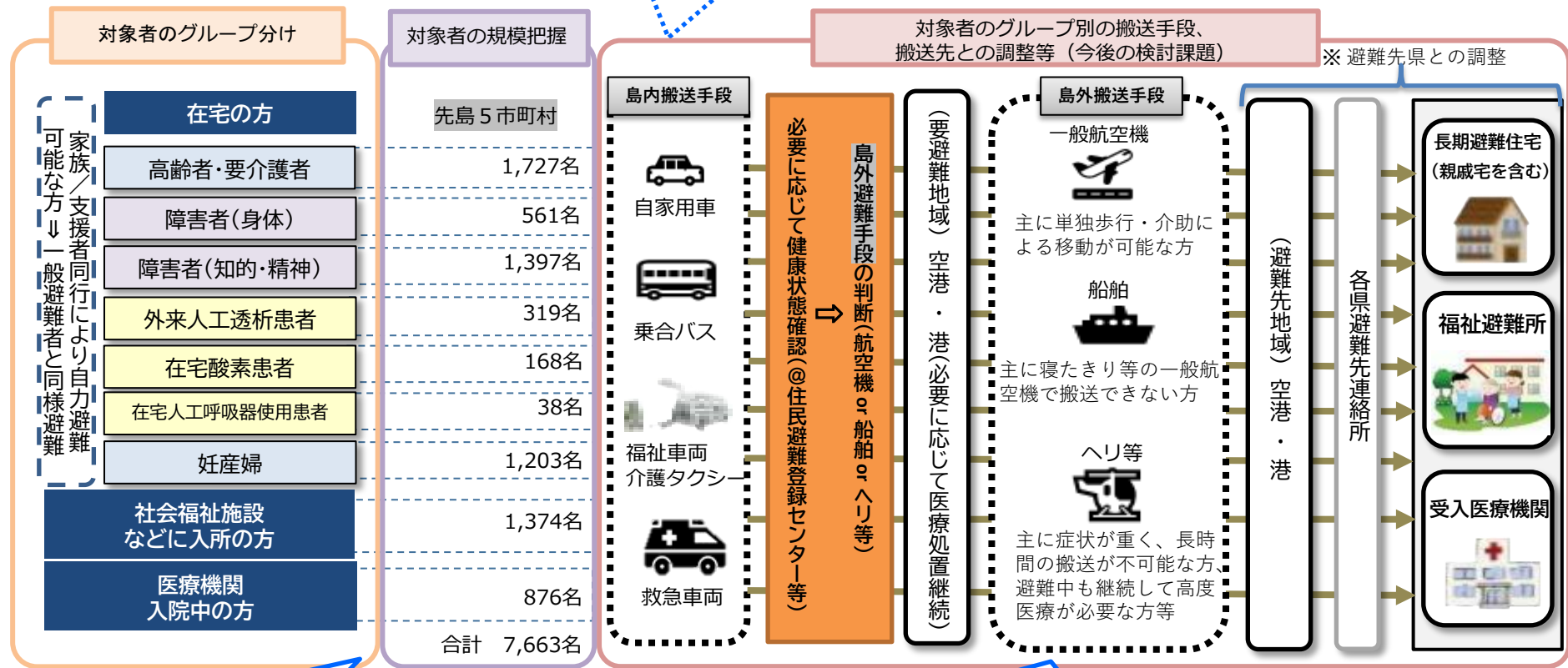


# 要配慮者避難についての検討状況のまとめ

- 医療・福祉ケア別の対象者のグループ分けを基に、①各市町村の対象者の規模を把握したうえで、健康状態等に応じた分類（独歩、護送、担送等7分類）を実施し、②グループ及び分類別の搬送手段及び支援体制の一案を整理した上で、さらに、③市町村内での避難要領をモデル的に検討。

※今後、搬送先との調整要領や、要配慮者の移動の負担軽減等の観点から、航空機の更なる活用等について、検討を深める必要がある。

- ③ 島内における避難要領について、各市町村で選定した要配慮者施設においてモデル的に検討。  
→一部市町村においては、施設からの避難要領だけでなく、在宅要配慮者の島内避難要領検討へ応用（次年度以降全市町村において本格的に検討）。



- ① 要配慮者の属性ごとにグループ分けを行い、各市町村の人数規模を把握。さらに健康状態等（歩行の可否、医療の要否等）に応じて7分類を実施。

- ② 要配慮者の属性、健康状態（7分類）をもとに、適切な島外避難手段への割り振り案の検討及び避難時に必要な付添い（医療従事者）について整理。今後、要配慮者の負担軽減等の観点から、検討を継続。

### **3 各市町村の避難実施要領案の精緻化**

## 1 前回（第X+1回）会議までの調整状況

### （1） 広域避難の検討状況なども踏まえて、各市町村で避難実施要領を検討。

ア 「避難（輸送）経路の設定」については、全市町村において、「住民避難登録センターの運用」については、石垣市、宮古島市において、一案を作成。

イ 「ライフラインの確保・維持」、「住民避難に係る職員等配置」、「住民広報（住民意見交換会等）」、「家畜・ペットの取扱い」については、検討着手の状況が様々。

## 2 前回（第X+1回）会議以降の調整内容 （今回調整事項）

### （1） 広域避難の検討状況の進捗も踏まえて、各市町村で避難実施要領の精緻化を実施。

ア 「避難（輸送）経路の設定」、「住民避難登録センターの運用」について、要配慮者避難のモデル施設における検討や在宅要配慮者の避難検討、実地確認を踏まえてJHTCの要領の精緻化を実施。

イ これまで検討着手の状況が様々であった「ライフラインの確保・維持」、「住民避難に係る職員等配置」、「家畜・ペットの取扱い」については、全市町村において検討を実施。

ウ 船舶による搬送の具体化に向けて、候補岸壁の選定や船舶に乗船するまでの避難誘導の一案を作成。

エ 「住民広報（住民意見交換会等）」の実施については、石垣市、与那国町において、住民意見交換会を実施。